

安曇野市の財政状況

平成 28 年 4 月 1 日から同年 9 月 30 日までの期間における財政状況及び平成 27 年度の決算状況

財政部財政課

目 次

1	歳入歳出の執行状況等	
(1)	予算概要	
ア	平成 28 年度一般会計予算の概要	1
イ	平成 28 年度一般会計補正予算(第 1 号)の概要	9
ウ	平成 28 年度一般会計補正予算(第 2 号)の概要	11
(2)	予算執行状況	
ア	会計別予算執行状況	17
イ	一般会計の予算執行状況	18
ウ	地方交付税の状況	20
2	財産、地方債の状況	
(1)	基金現在高見込み	22
(2)	地方債残高見込み	23
3	平成 28 年度安曇野市水道事業及び下水道事業に係る上半期の業務状況	24
4	平成 27 年度決算状況	
(1)	普通会計の決算状況	
ア	地方財政状況調査	34
イ	地方財政状況調査対象会計の状況	34
ウ	地方財政状況調査による普通会計の決算状況	35
エ	普通会計決算額等の推移	40
(2)	健全化判断比率の推移	46
(3)	水道事業の決算の概要	47

1 歳入歳出の執行状況等

(1) 予算概要

ア 平成 28 年度一般会計予算の概要

I 予算編成の基本方針と重点事業

【基本方針】

平成 28 年度は、安曇野市が目指す将来都市像実現のための施策を展開するとともに、「安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく「2040 (H52) 年度目標人口 83,000 人」の実現に向け、4つの基本目標〔①新たな雇用を生み出す、②若者や女性が活躍できるまちをつくる、③安心して出産し子育てできるまちをつくる、④いきいきと暮らせるまちをつくる〕を達成するため、職員一人ひとりが自覚し考えると共に、合併 10 年を経過した安曇野市の実情を踏まえた上で、将来を見据えた中長期的な視点から効果的な施策を見定めていく必要がある。

この 10 年間は、新市建設計画に基づく施設の整備、子育て支援や健康づくり施策の充実強化を進めてきたが、さらなる市民サービスの向上・福祉施策の充実・市民との協働のまちづくりなど、ソフト事業を重視していく段階へ移行する時期を迎えた。

これにより、平成 28 年度の予算編成においては、元気で豊かな安曇野市の創生に全力を傾けると共に市民ニーズを把握し、所管する事務事業について、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、貴重な財源の有効活用を図り、住民福祉の向上を念頭に、将来にわたって持続する「水と緑と光の郷 安曇野」の実現に向け予算編成に努めた。

《すべての世代が生き生きと暮らせ、
安心して子育てできるまちを目指して》

【安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業】

① 新たな雇用を生み出す

・果樹振興支援事業	461 万 4 千円
・玉ねぎ機械化体系支援事業	644 万円
・本社機能移転企業雇用創出事業	100 万円
・宿泊バスツアー助成事業	440 万円
・建設業技術者資格取得費補助金交付事業	319 万 5 千円

② 若者や女性が活躍できるまちをつくる

・移住相談窓口の設置	220 万 8 千円
・移住者向けおためし住宅の設置	117 万 1 千円
・博物館の出前展示事業	50 万円

③ 安心して出産し子育てできるまちをつくる

・不妊・不育症治療費助成事業	1,470 万円
・子育て応援手当給付事業	4,018 万 4 千円
・子ども発達支援相談事業	435 万 6 千円

④ いきいきと暮らせるまちをつくる

・拠点地域等住宅購入費助成	3,500万円
・空き店舗等活用促進事業	1,734万4千円
・デマンド交通システムの運用	7,677万9千円

【H28年度重点事業】

(1) 健康長寿のまちづくり

◆家族介護者介護慰労金支給事業	3,350万円	
◆保養施設等入浴券交付事業	795万1千円	
◆在宅福祉サービス事業	3,558万1千円	
◆養護老人ホーム入所措置	8,737万5千円	
◆穂高・三郷福祉センター管理運営事業	3,337万7千円	※新規
◆後期高齢者医療人間ドック助成事業	1,146万5千円	
◆国民年金業務システム改修料	117万3千円	※新規
◆健康づくり推進員による市歌体操普及	40万円	※新規
◆若年者健診	337万5千円	
◆節目肝炎ウイルス検診	509万4千円	
◆高齢者インフルエンザ予防接種	7,916万2千円	
◆デマンド交通システムの運用（総合戦略）	7,677万9千円	
◆空き店舗等活用促進事業（総合戦略）	1,734万4千円	
◆拠点地域等住宅購入費助成（総合戦略）	3,500万円	※新規

(2) 豊かな人を育むまちづくり

◆平和推進事業（広島平和記念式典への中学生派遣他）	195万円	
◆東金市との青少年交流事業	24万1千円	※新規
◆国際姉妹都市クラムザッハ訪問事業	570万1千円	
◆移住相談窓口の設置（総合戦略）	220万8千円	※新規
◆移住者向けおためし住宅の設置（総合戦略）	117万1千円	※新規
◆子育て応援手当給付事業（総合戦略）	4,018万4千円	
◆子ども発達支援相談事業（総合戦略）	435万6千円	
◆福祉医療費給付事業	5億2,216万9千円	
◆不妊・不育症治療費助成事業（総合戦略）	1,470万円	
◆臨時福祉給付金の給付	3億4,800万円	
◆自立支援給付	12億6,565万5千円	
◆障害児通所支援	4,376万3千円	
◆遊びの教室	315万8千円	※新規
◆ひきこもり支援事業	100万6千円	※新規
◆三郷北部保育園建設事業	3億1,515万2千円	
◆明科南保育園建設事業	1億8,528万3千円	
◆防災機能強化（小中学校体育館等非構造部材耐震化）	4億2,412万8千円	
◆三郷交流学習センター建設事業	5億9,460万円	※新規
◆歴史的価値ある公文書整理事業	312万4千円	※新規
◆博物館の出前展示事業（総合戦略）	50万円	
◆安曇野市スポーツ推進計画策定	186万3千円	※新規

◆南部総合公園再整備、 新体育館整備基本計画策定及び積立	1億1,340万9千円	※新規
---------------------------------	-------------	-----

(3) 活力あふれるまちづくり

◆地域交通網形成計画策定業務	194万1千円	※新規
◆農業農村振興基本計画策定事業	654万8千円	※新規
◆農業振興地域整備計画総合見直し	452万8千円	※新規
◆果樹栽培支援事業（総合戦略）	461万4千円	
◆玉ねぎ機械化体系支援事業（総合戦略）	644万円	
◆J Aあづみ大型直売所併設市民農園開設助成事業	173万9千円	※新規
◆安曇野の里湧水探索路改修工事	3,696万7千円	※新規
◆ファインビュー室山 大浴場改修工事	1億1,393万3千円	※新規
◆ほりで一ゆ〜四季の郷改修工事	4,822万9千円	※新規
◆農業フォーラムの開催	62万円	※新規
◆小水力発電推進事業	3,600万円	※新規
◆新そばと食の感謝祭	800万円	
◆本社機能移転企業雇用創出事業（総合戦略）	100万円	※新規
◆産業振興ポータルサイト構築事業	469万9千円	※新規
◆地域資源活用型新商品開発推進支援モデル事業	200万円	※新規
◆天蚕振興事業	500万6千円	
◆「朝が好きになる街」ブランドづくり事業	400万円	※新規
◆山岳観光推進事業	450万円	※新規
◆宿泊バスツアー助成事業（総合戦略）	440万円	※新規
◆安曇野しゃくなげの湯整備事業	10億2,207万円	
◆建設業技術者資格取得費補助金交付事業（総合戦略）	319万5千円	
◆第2次生涯学習推進計画策定	221万3千円	※新規

(4) 環境を守り、安全・安心なまちづくり

◆水環境基本計画策定業務	2,101万5千円	
◆総合的な安全・安心対策のための啓発	50万円	※新規
◆防犯灯設置事業（LED化更新）	5,961万7千円	
◆第二次環境基本計画の策定	473万3千円	※新規
◆エコアクション21認証・登録	94万7千円	※新規
◆安曇野市立地適正化計画策定業務委託	1,600万円	※新規
◆公園のバリアフリー化等整備	1,000万円	※新規
◆安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく改修工事	2,844万8千円	※新規
◆第7分団第1部詰所新築工事	3,955万5千円	※新規
◆自主防災組織支援事業	283万円	

(5) 協働によるまちづくりと行政サービスの向上

◆ふるさと寄附者との繋がり事業	1,179万6千円	※新規
◆豊科支所跡地駐車場整備	9,631万2千円	※新規
◆コミュニティFM市政情報放送業務	902万4千円	※新規
◆穂高支所建築工事	3億2,139万円	
◆第2次安曇野市総合計画策定業務	531万8千円	
◆人権のつどい講演会	77万4千円	
◆証明書コンビニ交付	1,738万6千円	※新規
◆中信四市選挙啓発（18歳選挙権）	33万1千円	※新規

II 予算の総額

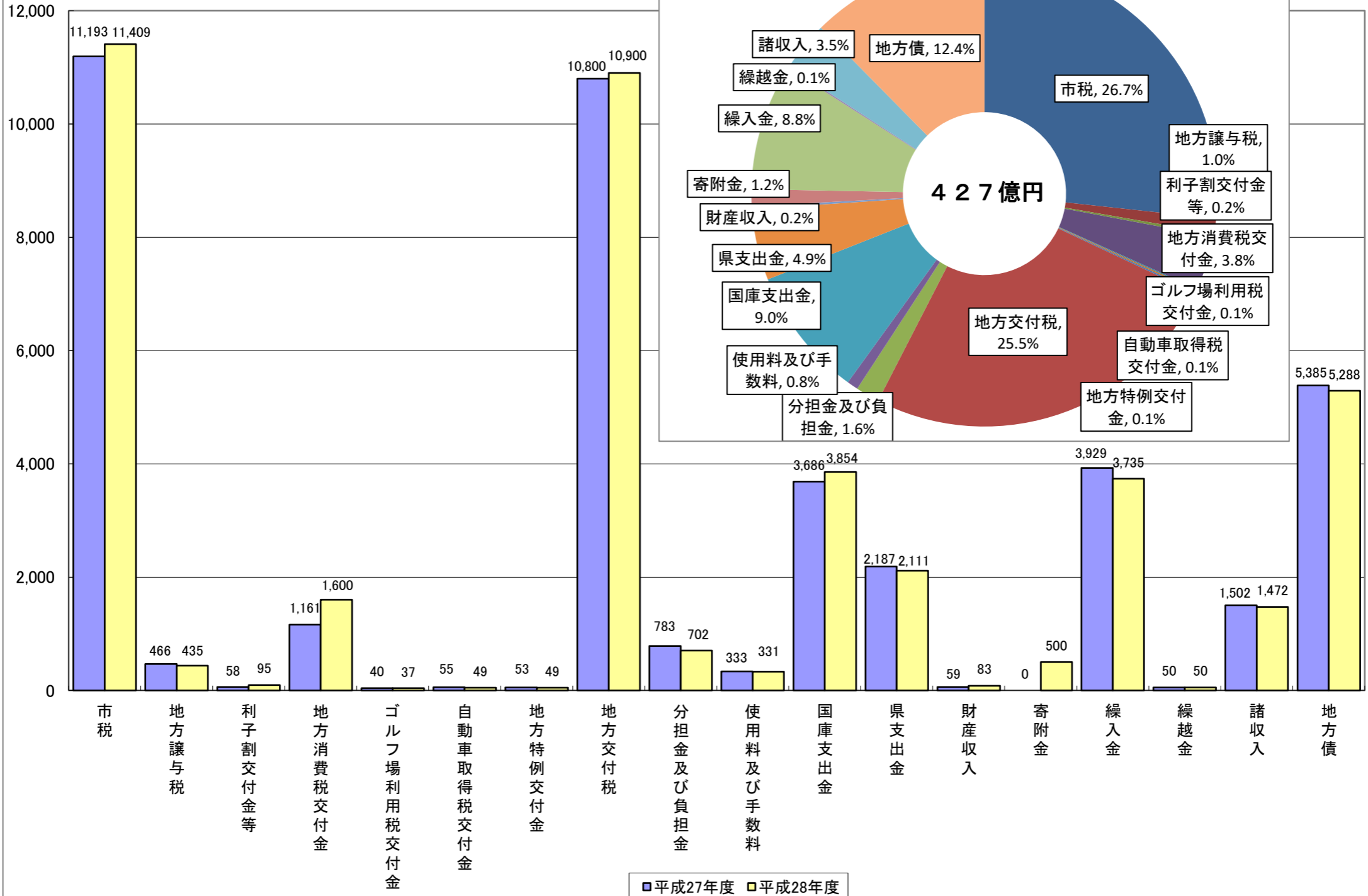
予算額 . . . 427億0,000万円

前年度当初予算額 417億4,000万円

対前年度 9億6,000万円増 (2.3%増)

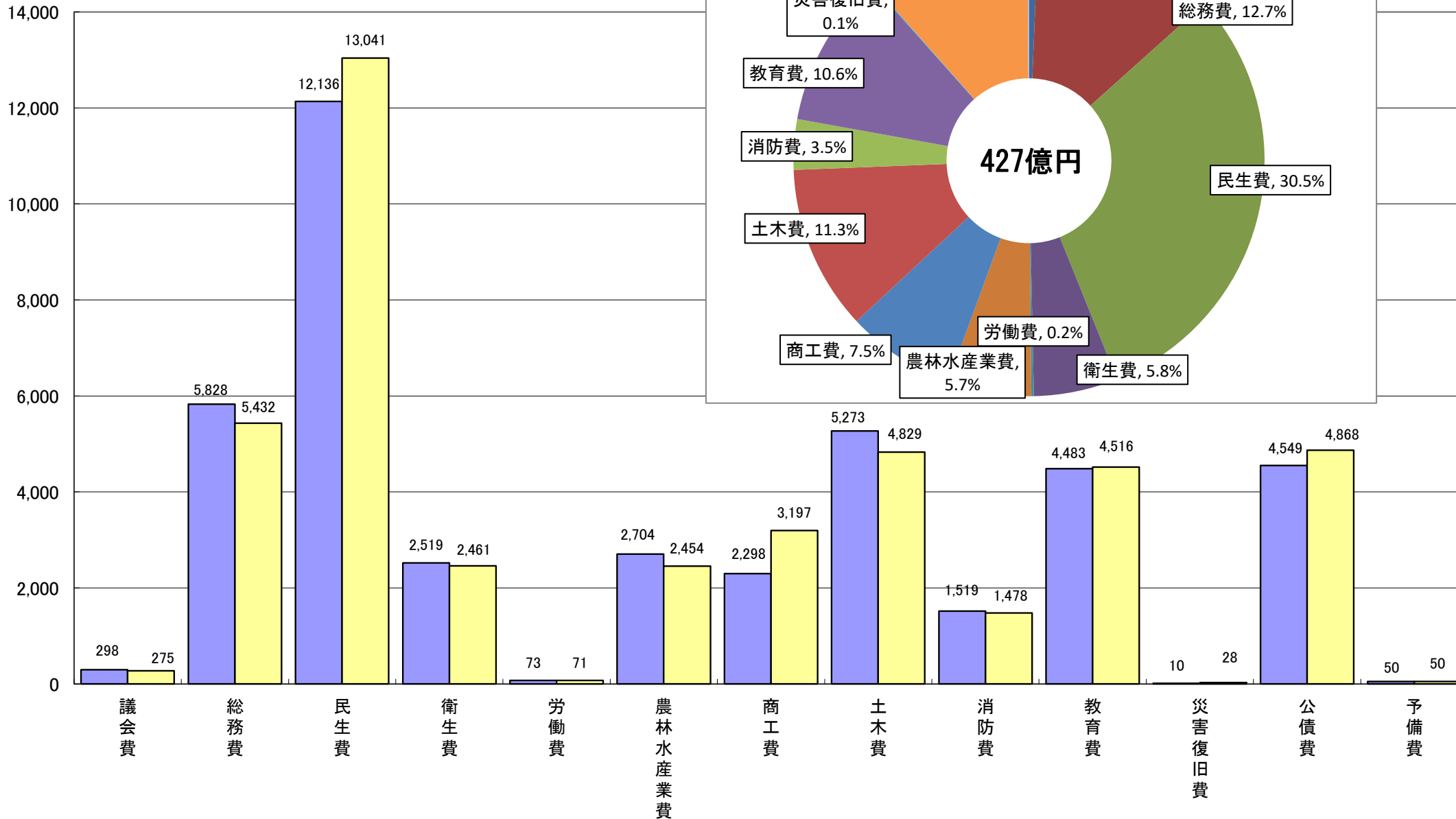
歳入予算の増減

百万円

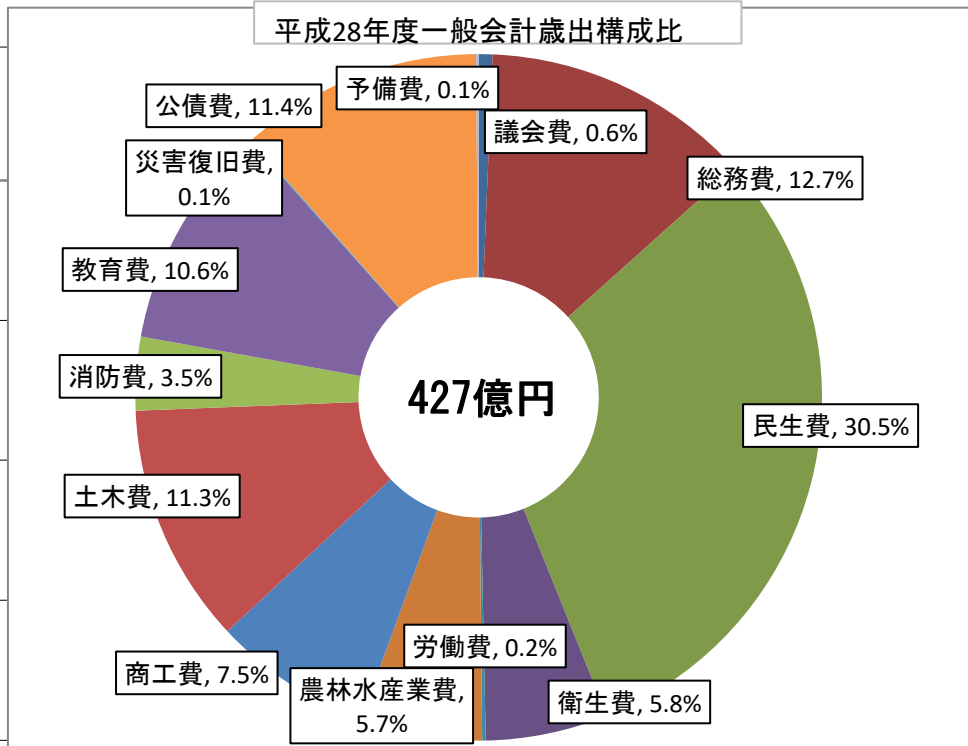


歳出予算の増減

百万円



■平成27年度 □平成28年度

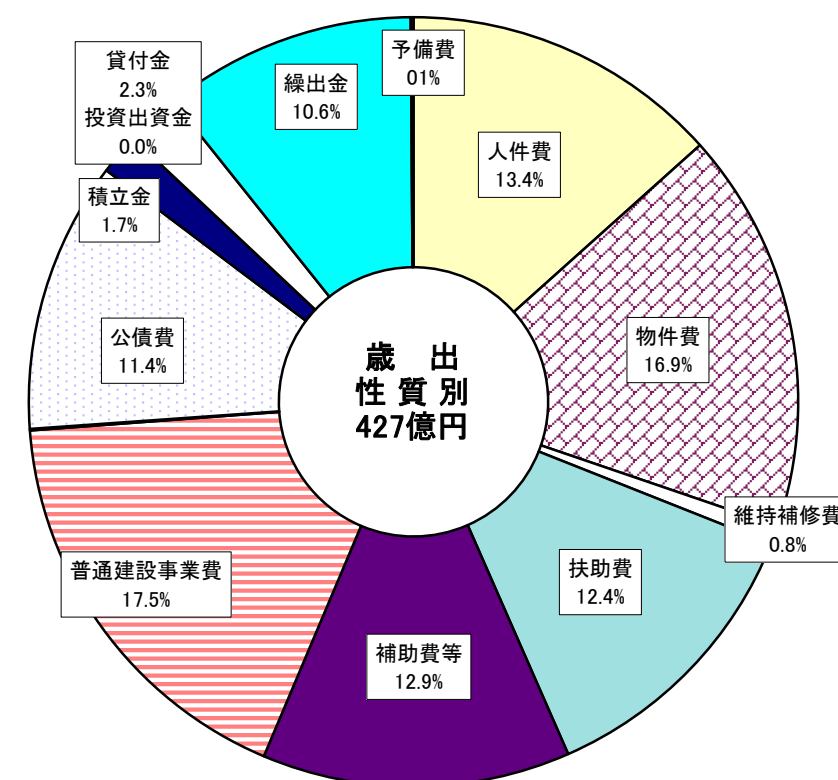


平成28年度一般会計予算 歳出目的別性質別集計表

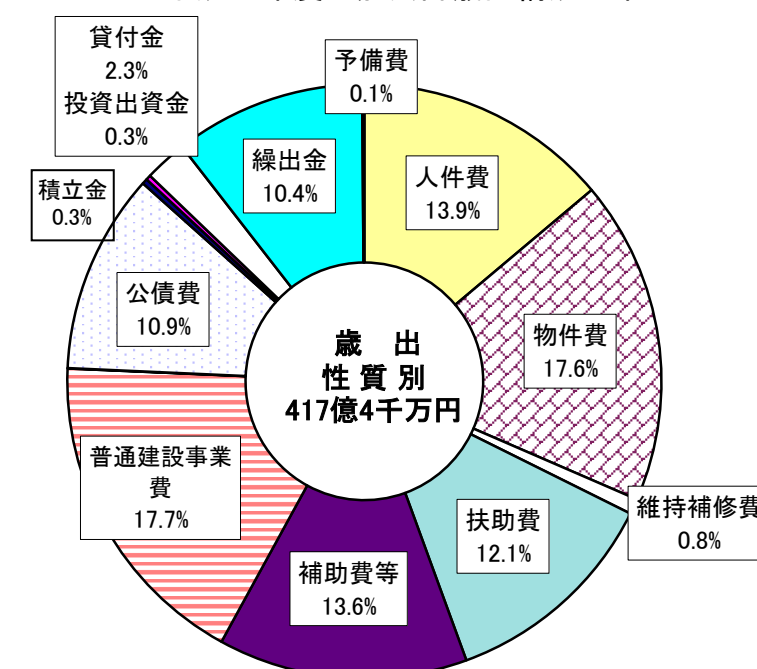
(単位：千円)

款	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	災害復旧費	公債費	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	予備費	合計
1 議会費	243,123	28,259			3,842									275,224
2 総務費	2,095,936	1,263,108	11,853		661,813	852,709			545,917			822		5,432,158
3 民生費	1,308,309	1,904,502	25,718	5,201,649	1,289,976	1,072,548			2,012		6,692	2,229,183		13,040,589
4 衛生費	413,801	1,012,480	4,176	7,309	921,173	97,892			4,350					2,461,181
5 労働費		3,326	50		7,810						60,000			71,186
6 農林水産業費	387,150	448,396	10,186		821,411	704,463			82,517					2,454,123
7 商工費	160,126	161,490	1,860		439,023	1,505,244			21		900,000	29,417		3,197,181
8 土木費	417,706	381,652	239,383		69,790	1,447,238						2,273,306		4,829,075
9 消防費	97,025	94,319	138		1,140,857	145,422								1,477,761
10 教育費	586,842	1,902,861	37,914	87,000	172,798	1,626,619			101,450					4,515,484
11 災害復旧費							28,000							28,000
12 公債費								4,868,038						4,868,038
14 予備費													50,000	50,000
合計	5,710,018	7,200,393	331,278	5,295,958	5,528,493	7,452,135	28,000	4,868,038	736,267	0	966,692	4,532,728	50,000	42,700,000
前年度合計	5,786,903	7,364,352	349,186	5,041,221	5,662,913	7,387,827	10,000	4,548,806	121,186	112,000	966,480	4,339,126	50,000	41,740,000
増減額	△76,885	△163,959	△17,908	254,737	△134,420	64,308	18,000	319,232	615,081	△112,000	212	193,602	0	960,000
増減率(%)	△1.3	△2.2	△5.1	5.1	△2.4	0.9	180.0	7.0	507.6	△100.0	0.0	4.5	0.0	2.3

平成28年度一般会計歳出構成比率



平成27年度一般会計歳出構成比率



平成28年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会 計 名	平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比 較	対前年度 比率 %
安曇野市一般会計	42,700,000	41,740,000	960,000	2.3
安曇野市国民健康保険特別会計	12,502,701	12,519,497	△ 16,796	△ 0.1
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,032,502	978,058	54,444	5.6
安曇野市介護保険特別会計	8,855,021	8,788,183	66,838	0.8
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,512	3,843	△ 1,331	△ 34.6
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,118	1,192	△ 74	△ 6.2
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,150	1,342	△ 192	△ 14.3
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	975	1,508	△ 533	△ 35.3
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,487	1,379	108	7.8
安曇野市産業団地造成事業特別会計	85,224	84,991	233	0.3
安曇野市観光宿泊施設特別会計	32,164	39,099	△ 6,935	△ 17.7
特別会計合計	22,514,854	22,419,092	95,762	0.4
総 計（一般会計+特別会計）	65,214,854	64,159,092	1,055,762	1.6

会 計 名 等		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比 較	対前年度 比率 %
安曇野市水道事業会計	収益的收入	2,321,106	2,342,617	△ 21,511	△ 0.9
	収益的支出	2,078,922	2,137,145	△ 58,223	△ 2.7
	資本的收入	75,166	193,068	△ 117,902	△ 61.1
	資本的支出	1,343,759	1,247,093	96,666	7.8
安曇野市下水道事業会計	収益的收入	4,111,116			
	収益的支出	3,950,991			
	資本的收入	993,977			
	資本的支出	2,501,039			

イ 平成 28 年度一般会計補正予算（第 1 号）の概要等
（平成 28 年 6 月議会提出）

1 平成 28 年度一般会計補正予算（第 1 号）の編成方針等

○ 基本事項

『平成 28 年度当初予算の執行開始後間もない』こと、及び『増額補正に対応する財源確保が困難である』ことから、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ① 当初予算編成時に諸条件が整い次第予算化を検討するとしたもののうち、要件を満たしたものであって、緊急を要するものの補正
- ② 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要するものの補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	1 億 1, 000 万円
補正前の予算額	4 2 7 億 0, 000 万円
補正後の予算額	4 2 8 億 1, 000 万円

3 歳入の増額項目

予算書 P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
10	産地パワーアップ事業	1 億 1, 000 万円	農業生産振興事業	T P P 関連政策大綱に基づく交付金

4 歳出の増額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
12	農業生産振興費	1 億 1, 000 万円	産地パワーアップ（産地が地域の強みを活かして販売額を向上する取組み等）による増

【参考】

平成 28 年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第 1 号）	42,700,000	110,000	42,810,000
安曇野市国民健康保険特別会計	12,502,701		12,502,701
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,032,502		1,032,502
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第 1 号）	8,855,021	34,976	8,889,997
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,512		2,512
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,118		1,118
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,150		1,150
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	975		975
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,487		1,487
安曇野市産業団地造成事業特別会計	85,224		85,224
安曇野市観光宿泊施設特別会計	32,164		32,164
特別会計合計	22,514,854	34,976	22,549,830
総 計（一般会計+特別会計）	65,214,854	144,976	65,359,830

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,321,106		2,321,106
	収益的支出	2,078,922		2,078,922
	資本的収入	75,166		75,166
	資本的支出	1,343,759		1,343,759
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,111,116		4,111,116
	収益的支出	3,950,991		3,950,991
	資本的収入	993,977		993,977
	資本的支出	2,501,039		2,501,039

ウ 平成 28 年度一般会計補正予算（第 2 号）の概要等
（平成 28 年 9 月議会追加提出）

1 平成 28 年度一般会計補正予算（第 2 号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、平成 28 年度の後期の必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ①本年度の予算執行段階において、見直し等を決定した予算及び、入札等により事業費が確定したことによる減額の補正
- ②事業実施に関する諸条件が整ったことによる事業化の見通しがたったもので、緊急を要するなど、年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	4 億円
補正前の予算額	4 2 8 億 1, 0 0 0 万円
補正後の予算額	4 3 2 億 1, 0 0 0 万円

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	国庫支出金			
12	生活困窮者住居確保給付金負担金	50万円	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者住居確保支援扶助費
12	個人番号カード交付事業費補助金	2,321万5千円	戸籍住民基本台帳管理費	個人番号カード関連システム経費に係る交付金
12	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業補助金	2,400万円	臨時福祉給付金給付事業	年金生活者等支援給付金
12	地域介護・福祉空間整備交付金	226万8千円	介護保険対策費	民間介護施設のスプリンクラー整備事業補助
12	学校施設環境改善交付金	△3,966万1千円	小学校施設改修事業 中学校施設改修事業	学校体育館耐震化事業交付金
	県支出金			
12	元気づくり支援金	403万7千円	交流促進事業	伝統文化魅力発信事業補助
12	果樹経営起業準備支援事業補助金	100万円	後継者対策事業	樹園地整備新規就農者補助
12	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	136万8千円	耕地総務費	土地改良区設置雨量計補助
	寄附金			
14	指定寄附金	115万8千円	社会福祉総務費 工業振興事業 各小学校教育振興費	指定寄附金
	繰入金			
14	財政調整基金繰入金	△2億5,265万9千円	一般財源	繰入減額
14	公共施設整備基金繰入金	△9,600万円	豊科支所跡地整備事業	財源変更
		△1億円	ファインビュー室山運営事業	
14	ふるさと寄附基金繰入金	9,722万8千円	事務局費(教育)	入学準備金貸付基金積立

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
14	入学準備金貸付基金繰入金	6,100万円	事務局費(教育)	入学準備金貸付
繰越金				
14	繰越金	6億2,638万8千円	一般財源	前年度繰越金
諸収入				
14	コミュニティ助成事業助成金	△3,200万円	まちづくり推進事業	コミュニティ事業助成
14	農業生産体質強化総合推進対策事業返還金	950万2千円	畑作園芸振興事業	種菌生産事業廃止返還金
市債				
16	旧合併特例事業債	1億2,580万円	豊科支所跡地整備事業	財源変更
16	防災対策事業債	△570万円	非常備消防費	防災基盤整備事業費決定(消防車両3台更新)
16	全国防災事業債	△1億5,050万円	小学校施設改修事業 中学校施設改修事業	借入廃止
16	学校教育施設整備事業債	8,680万円	小学校施設改修事業 中学校施設改修事業	学校防災機能強化事業(非構造部材耐震化)
		660万円	中学校施設改修事業	中学校整備(大規模改造事業)

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	総務費		
20	豊科支所跡地整備事業	△5,780 万円	豊科公民館駐車場整備 (債務負担行為設定)
20	財政管理費	404 万 6 千円	地方公会計システム
20	基金積立金	3 億 4,000 万円	財政調整基金積立 (決算剰余金の 1/2 以上)
22	まちづくり推進事業	△3,182 万 7 千円	コミュニティ助成対象事業の決定外
22	電算管理費	△725 万 8 千円	電算システム更新事業外
24	戸籍住民基本台帳管理費	2,256 万 5 千円	個人番号カードシステム負担金外
	民生費		
26	臨時福祉給付金給付事業	2,400 万円	年金生活者等への支援給付
28	介護保険対策費	539 万 3 千円	介護施設の見守りロボット導入、スプリンクラー設備補助外
	衛生費		
34	予防接種事業	1,242 万 8 千円	B 型肝炎ワクチン予防接種委託料外
34	穂高雑排水処理場	179 万円	施設改修実施設計委託料外
	農林水産業費		
36	ファインビュー室山運営事業	△6,870 万円	浴場改修工事外 (債務負担行為設定)
	土木費		
42	除雪対策費	359 万 6 千円	除雪作業機械借上
42	都市公園等維持管理事業	149 万 1 千円	費用対効果分析業務委託外 (社会資本総合交付金事業対応)

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	教育費		
48	事務局費	1億6,532万2千円	入学準備金貸付金外
52	中学校施設維持修繕事業	288万4千円	施設修繕費外
54	文化振興費	△369万7千円	指定管理委託料
56	図書館費	194万円	図書館基本計画アンケート委託外
56	社会体育施設管理費	180万円	体育施設修繕費
各事業へ 計上	人件費（給料・手当・共済）	△2,939万円	給料（△1,508万円） 手当（△1万円） 共済（△1,430万円）

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

追加

事業名	金額	期間	内容
ファインビュー室山運営事業	6,870万円	平成29年度まで	大浴場改修工事及び監理委託
豊科支所跡地整備事業	5,780万円	平成29年度まで	豊科公民館駐車場整備工事

【参考】

平成 28 年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算 (第 2 号)	42,810,000	400,000	43,210,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算 (第 1 号)	12,502,701	109,900	12,612,601
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算 (第 1 号)	1,032,502	15,904	1,048,406
安曇野市介護保険特別会計 補正予算 (第 2 号)	8,889,997	31,782	8,921,779
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,512		2,512
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,118		1,118
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,150		1,150
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	975		975
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,487		1,487
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算 (第 1 号)	85,224	0	85,224
安曇野市観光宿泊施設特別会計 補正予算 (第 1 号)	32,164	2,430	34,594
特別会計合計	22,549,830	160,016	22,709,846
総 計 (一般会計+特別会計)	65,359,830	560,016	65,919,846

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,321,106		2,321,106
	収益的支出	2,078,922		2,078,922
	資本的収入	75,166		75,166
	資本的支出	1,343,759		1,343,759
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,111,116		4,111,116
	収益的支出	3,950,991		3,950,991
	資本的収入	993,977		993,977
	資本的支出	2,501,039		2,501,039

(2) 予算執行状況 (平成28年9月末現在)

ア 会計別予算執行状況

歳入予算執行

歳入予算の執行状況は予算比で42.1%、調定比で62.9%となった。

なお、予算現額は、平成27年度の繰越明許費、事故繰越しに係る歳入予算を含みます。

(単位：千円、%)

会計名称	予算現額	調定額	収入累計額	収入率	
				予算比	調定比
一般会計	43,731,790	25,968,999	18,796,766	43.0	72.4
安曇野市国民健康保険特別会計	12,612,601	9,900,471	5,088,737	40.3	51.4
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,048,406	1,044,318	526,430	50.2	50.4
安曇野市介護保険特別会計	8,921,779	7,498,927	3,519,868	39.5	46.9
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,512	591	591	23.5	100.0
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,118	588	588	52.6	100.0
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,150	547	547	47.6	100.0
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	975	579	579	59.4	100.0
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,487	591	591	39.7	100.0
安曇野市産業団地造成事業特別会計	85,224	874	874	1.0	100.0
安曇野市観光宿泊施設特別会計	34,594	3,627	3,627	10.5	100.0
計	66,441,636	44,420,112	27,939,198	42.1	62.9

歳出予算執行

歳出予算の執行状況は負担行為済比較で52.9%、支出済比で39.2%となった。

なお、予算現額は、平成27年度の繰越明許費、事故繰越しに係る歳出予算を含みます。

(単位：千円、%)

会計名称	予算現額	支出負担 行為済額	支出累計額	執行率	
				負担行為	支出済
一般会計	43,731,790	23,416,437	17,055,097	53.5	39.0
安曇野市国民健康保険特別会計	12,612,601	7,506,340	4,960,773	59.5	39.3
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,048,406	601,313	465,201	57.4	44.4
安曇野市介護保険特別会計	8,921,779	3,617,936	3,541,144	40.6	39.7
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,512	10	9	0.4	0.4
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,118	34	34	3.0	3.0
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,150	23	23	2.0	2.0
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	975	35	30	3.6	3.1
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,487	32	32	2.2	2.2
安曇野市産業団地造成事業特別会計	85,224	455	455	0.5	0.5
安曇野市観光宿泊施設特別会計	34,594	23,276	14,541	67.3	42.0
計	66,441,636	35,165,891	26,037,339	52.9	39.2

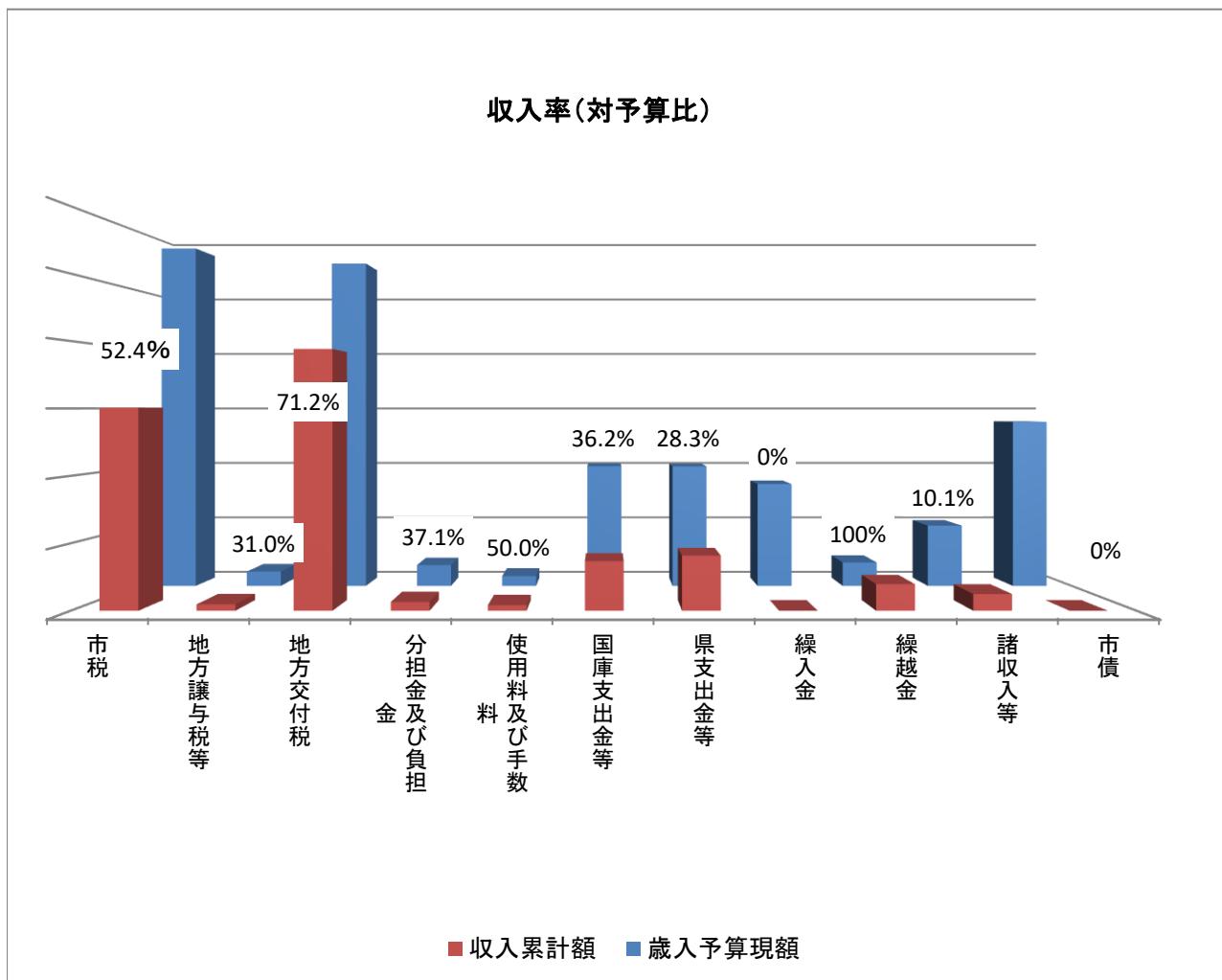
※予算現額には繰越予算を含む。表示単位未満は四捨五入。

イ 一般会計予算の執行状況

歳入執行状況

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額	調定額	収入累計額	収入率	
				予算比	調定比
1 市税	11,408,606	11,488,890	6,019,700	52.8	52.4
2 地方譲与税	435,000	134,739	134,739	31.0	100.0
3 利子割交付金	21,000	4,000	4,000	19.0	100.0
4 配当割交付金	20,000	11,946	11,946	59.7	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	40,000	0	0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金	1,600,000	937,637	937,637	58.6	100.0
7 ゴルフ場利用税交付金	37,000	14,182	14,182	38.3	100.0
8 自動車取得税交付金	49,000	25,307	25,307	51.6	100.0
9 地方特例交付金	49,000	59,317	59,317	121.1	100.0
10 地方交付税	10,900,000	7,764,468	7,764,468	71.2	100.0
11 交通安全対策特別交付金	14,000	7,462	7,462	53.3	100.0
12 分担金及び負担金	702,713	587,170	260,900	37.1	44.4
13 使用料及び手数料	330,553	239,764	165,398	50.0	69.0
14 国庫支出金	4,036,067	2,086,885	1,462,738	36.2	70.1
15 県支出金	2,275,214	989,252	642,977	28.3	65.0
16 財産収入	82,606	16,162	10,594	12.8	65.5
17 寄附金	501,160	361,953	338,903	67.6	93.6
18 繰入金	3,444,402	500	500	0.0	
19 繰越金	788,790	788,787	788,787	100.0	100.0
20 諸収入	1,453,079	450,580	147,213	10.1	32.7
21 市債	5,543,600	0	0	0.0	0.0
計	43,731,790	25,969,001	18,796,768	43.0	72.4



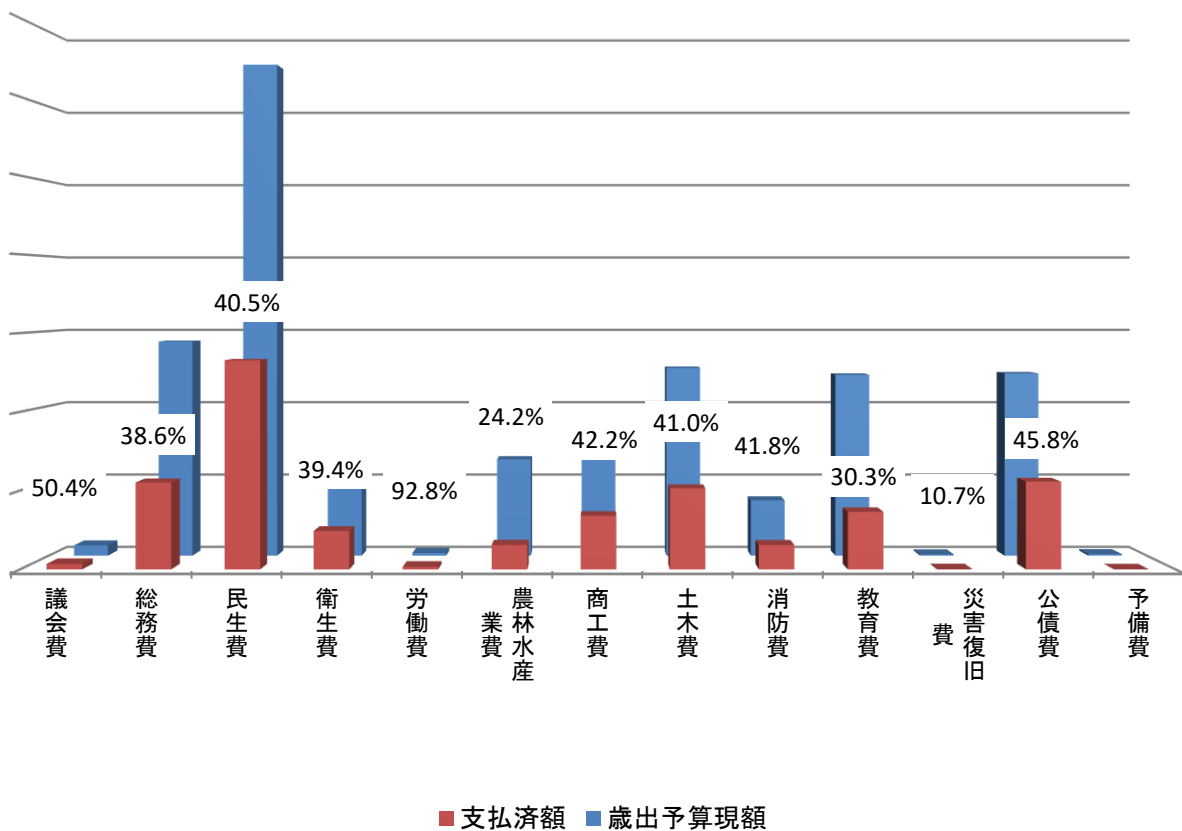
歳出執行状況

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額	支出負担行為済額	支出累計額	執行率	
				負担行為済	支出済
1 議会費	275,863	154,268	139,122	55.9	50.4
2 総務費	5,723,218	2,747,728	2,208,967	48.0	38.6
3 民生費	13,117,954	7,131,200	5,307,759	54.4	40.5
4 衛生費	2,472,697	1,423,474	974,107	57.6	39.4
5 労働費	71,186	66,523	66,080	93.4	92.8
6 農林水産業費	2,572,958	977,407	622,758	38.0	24.2
7 商工費	3,233,909	2,318,632	1,363,837	71.7	42.2
8 土木費	5,016,781	2,707,359	2,058,493	54.0	41.0
9 消防費	1,478,926	1,287,360	618,597	87.0	41.8
10 教育費	4,829,816	2,363,806	1,463,382	48.9	30.3
11 災害復旧費	31,348	10,033	3,348	32.0	10.7
12 公債費	4,868,038	2,228,647	2,228,647	45.8	45.8
14 予備費	39,096	0	0	0.0	0.0
計	43,731,790	23,416,437	17,055,097	53.5	39.0

※予備費は50,000千円を当初予算で計上した。予備費充用が合計で10,904千円行われたため
 予算現額は39,096千円。

執行率(対支出済み)



ウ 地方交付税・財政力指数の状況

地方交付税算定額、財政力指数の推移

(単位：千円)

		基準財政収入額A	基準財政需要額B	普通交付税(B-A)	財政力指数(単年)	財政力指数(3年平均)	地方交付税に係る全体的な情勢
旧町村単純合計	平成17年	10,422,939	17,620,741	7,197,802	0.592	0.592	
安曇野市	平成18年	10,907,726	16,594,879	5,687,153	0.657	0.613	平成18年度 三位一体の改革実施、税源移譲、国庫補助金廃止、徴税等行革取組みに係る算定実施。
	〃(算定替)	10,937,963	18,678,870	7,740,907	0.586	0.589	
	平成19年	11,100,686	16,835,331	5,734,645	0.659	0.636	平成19年度 基本方針2006に沿った行革努力・歳出削減を前提とした需要額の見直し。
	〃(算定替)	11,131,804	19,080,103	7,948,299	0.583	0.587	
	平成20年	11,369,917	17,360,821	5,990,904	0.655	0.657	平成20年度 基本方針2007に沿った需要額の見直し。地方再生対策費と減税補てん特例交付金の創設
	〃(算定替)	11,400,950	19,537,190	8,136,240	0.584	0.584	
	平成21年	10,651,331	17,297,663	6,646,332	0.616	0.643	平成21年度 地域雇用創出推進費と減収補てん特例交付金(自動車取得税交付金減収分)の創設
	〃(算定替)	10,683,507	19,636,775	8,953,268	0.544	0.570	
	平成22年	9,734,208	17,391,747	7,657,539	0.560	0.610	平成22年度 雇用対策・地域資源活用臨時特例費の創設。地方が自由に財源を増やすため地方交付税総額の増額
	〃(算定替)	9,767,776	19,696,606	9,928,830	0.496	0.541	
	平成23年	10,025,537	17,485,149	7,459,612	0.573	0.583	平成23年度 雇用対策・地域資源活用推進費の創設。東日本大震災の被災団体に対する算定上の特例。
	〃(算定替)	10,058,433	20,256,318	10,197,885	0.497	0.512	
	平成24年	10,384,541	17,627,591	7,243,050	0.589	0.574	平成24年度 「地方再生対策費」と「地域活性化・雇用等対策」を「地域経済基盤強化・雇用等対策費」に整理統合。東日本大震災分は別枠として整理。
	〃(算定替)	10,417,508	20,409,819	9,992,311	0.510	0.501	
	平成25年	10,058,717	17,742,930	7,684,213	0.567	0.576	平成25年度 地方公務員給与費削減に係る算定、「地域の元気づくり推進費」の創設、臨時財政対策債の配分を全て財源不足方式に変更。
	〃(算定替)	10,091,371	20,594,059	10,502,688	0.490	0.499	
	平成26年	10,328,171	18,164,768	7,836,597	0.569	0.575	平成26年度 消費税率の引き上げに伴う社会保障の充実分の地方負担額の算入、「地域の元気創造事業費」の算定、市町村合併に伴う行政区域の広域化を反映した「支所費」の算定等が追加された。
〃(算定替)	10,360,021	20,749,644	10,389,623	0.499	0.500		
平成27年	10,998,185	19,346,134	8,347,949	0.568	0.568	平成27年度 まち・ひと・しごと創生事業費の創設、地域経済基盤強化・雇用等対策費の創設 市町村合併による行政区域の広域化を反映した算定が付加された。	
〃(算定替)	11,029,542	21,434,941	10,405,399	0.515	0.501		
平成28年	11,298,010	20,098,577	8,800,567	0.562	0.566	平成28年度 重点課題対応分の創設、トップランナー方式による算定、市町村合併に伴う行政区域の広域化を反映した算定がされた。本年度から縮減が始まり縮減率1割、縮減額141,416千円となった。	
〃(算定替)	11,329,584	21,585,788	10,256,204	0.525	0.513		

※錯誤前、調整前の数値のため実際の交付額と相違する場合があります

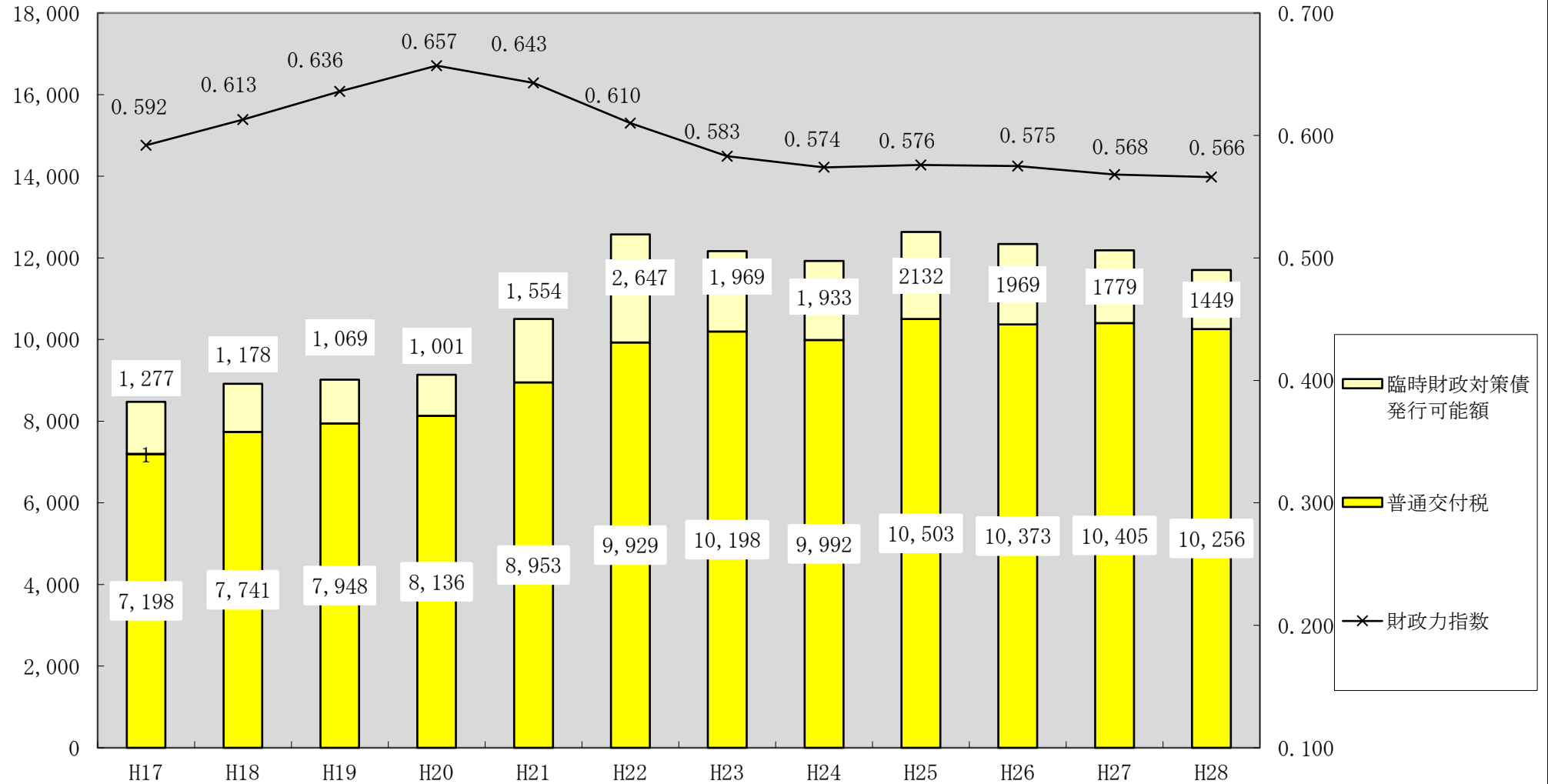
※合併算定替：合併前の町村が存在するものとして、それぞれ個別に算定した基準財政需要額の総計

※一本算定：安曇野市として算定した基準財政需要額

※縮減率：合併算定替では、複数の団体の行政経費を個別に算定するため、1団体で算定するよりも行政経費が高上がりになります。安曇野市においても、合併算定替の方が一本算定より基準財政需要額が高くなるため、交付税額も大きくなります。合併後10年間は、合併算定替の基準財政需要額による地方交付税が交付されますが、合併11年目以降は、1年毎に一本算定と合併算定替との交付税の差額を9割、7割、5割、3割、1割と落としていき、16年目で初めて一本算定と同額の状態になります。この減額割合を縮減率と言います。

地方交付税交付額・財政力指数の推移

(単位：百万円)



(1)基金現在高見込み

単位:千円

名称等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 見込額			
	年度末	年度末	年度末	年度末	積立額	取崩額	年度末	
財政調整基金	4,904,882	4,951,967	5,114,380	5,147,062	361,454	1,735,643	3,772,873	
減債基金	1,902,002	2,118,109	2,072,416	2,082,196	8,694	370,000	1,720,890	
基盤整備	公共施設整備基金	2,921,396	3,751,975	3,742,497	3,435,158	15,699	704,000	2,746,857
	安曇野市本庁舎等建設事業基金	502,973	435,878	97,618	22,087			22,087
	地域振興基金	2,808,268	2,714,719	2,618,788	2,457,788	210,984	111,839	2,556,933
	市営住宅整備基金	26,848						
	分収造林事業基金	2,433	2,444	2,457	2,469	11		2,480
	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	132,175	129,737	129,544	124,876	544	900	124,520
	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	5,139	4,862	4,389	3,910	19	500	3,429
国際交流基金	21,064	20,275	19,634	19,003		884	18,119	
社会福祉	福祉基金	410,647	518,551	479,437	433,827	2,012	140,000	295,839
	地域振興整備基金	71,945						
	堀金保育園建設基金							
産業振興	ふるさと・水と土保全基金	41,593	41,593	41,593	41,593			41,593
	ふれあい体験館基金	12,975	6,702					
	豊科安曇野の里基金	6,499	10,772	10,831	5,401	5,336	5,290	5,447
	天蚕振興基金	4,884	4,906	4,933	4,956	21		4,977
	三郷農林漁業体験実習館基金	22,551	21,062	20,827	26,240	17,251	24,626	18,865
	堀金産地形成促進施設基金	16	2,357	2,747	3,178	2,352	468	5,062
	堀金観光開発基金	50,294	77,755	112,969	130,964	57,004	47,229	140,739
	安曇野市山岳環境整備基金				119,880			119,880
教育文化	芸術文化施設整備基金							
	豊科図書館建設事業基金							
	三郷図書館建設事業基金	309,390	310,782	312,482	306,957	1,311	100,000	208,268
	義務教育施設整備基金	12,334						
	青少年育成基金				7,970	43	2,000	6,013
	青少年交流事業支援基金	6,271	6,299	6,333	6,363	27		6,390
	博物館等美術品取得及び特別企画展開催基金	21,489	17,586	17,682	17,765	75		17,840
	市名誉市民田淵行男顕彰基金	3,657	2,674	2,186	2,196	10	500	1,706
	奨学金基金	2,137	2,447	2,460	2,772	97,239	61,000	39,011
	公式スポーツ施設整備基金					100,000		100,000
その他	霊園施設整備基金	159,394	113,911	119,188	128,770	4,350	5,571	127,549
	ふるさとづくり基金	11,267	9,318	7,369	5,904	31	1,500	4,435
	ふるさと寄附基金				621,692	300,000	97,228	824,464
	西穂高会館維持運営基金	3,109	3,123	2,753	2,766	12		2,778
小計	14,377,632	15,279,804	14,945,513	15,163,743	1,184,479	3,409,178	12,939,044	
土地開発基金	現金・預金	193,821	194,693	195,758	196,682	822		197,504
	土地	327,963	169,309	126,530	126,530		35,225	91,305
国民健康保険支払準備基金	1,014,729	987,795	791,284	696,602	192,061	415,476	473,187	
上川手財産区基金	7,571	6,596	6,382	9,312	27	386	8,953	
北の沢山林財産区基金	11,070	11,216	10,777	10,628	46	800	9,874	
有明山林財産区基金	21,540	21,637	21,755	22,358	92	540	21,910	
富士尾沢山林財産区基金	1,680	1,688	1,697	2,605	8	391	2,222	
穂高山林財産区基金	1,335	1,341	1,348	2,054	6	856	1,204	
安曇野市外1市山林組合基金								
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金								
介護保険支払準備基金	255,234	296,677	332,095	364,950	30,165	43,914	351,201	
介護従事者処遇改善臨時特例基金								
保養施設経営基金								
農業集落排水事業建設基金	22,840	22,943	26,815					
公共下水道建設基金	606,885	488,917	410,234					
小計	1,942,884	1,838,810	1,602,388	1,108,509	222,405	462,363	868,551	
合計	16,842,300	17,482,616	16,870,189	16,595,464	1,407,706	3,906,766	14,096,404	

(2)地方債現在高見込み

(単位：千円)

区 分	前々年度末 現在高	前年度末 現在高見込額	当該年度中増減見込		当該年度末 現在高見込額
			当該年度中 起債見込額	当該年度中 元金償還見込 額	
1 普通債	26,209,462	27,136,888	3,843,000	3,326,298	27,653,590
(1) 総務	7,790,238	8,366,634	623,300	740,846	8,249,088
(2) 民生	2,831,143	2,650,054	984,800	421,191	3,213,663
(3) 衛生	3,297,197	3,281,232		261,181	3,020,051
(4) 労働					
(5) 農林水産	1,666,717	1,624,684	77,400	426,008	1,276,076
(6) 商工	119,550	324,500	776,700	46,770	1,054,430
(7) 土木	2,752,141	2,978,827	294,800	400,648	2,872,979
(8) 消防	677,752	639,264	15,700	97,454	557,510
(9) 教育	7,074,724	7,271,693	1,070,300	932,200	7,409,793
2 災害復旧債	24,493	12,119	7,900	8,297	11,722
(1) 土木	21,366	10,307	7,900	7,092	11,115
(2) 農林	3,127	1,812		1,205	607
3 その他	15,431,753	16,088,454	1,500,000	1,218,149	16,370,305
(1) 減収補てん債					
(2) 減税補てん債	652,735	554,240		100,153	454,087
(3) 臨時税収補てん債	108,342	72,353		36,715	35,638
(4) 臨時財政対策債	14,670,676	15,461,861	1,500,000	1,081,281	15,880,580
合 計	41,665,708	43,237,461	5,350,900	4,552,744	44,035,617

3 平成28年度安曇野市水道事業及び下水道事業に係る上半期の業務状況

I 水道事業の状況

(1) 事業の概要

安定した水道水の供給を行うため、計画的な水道施設の整備を進めるとともに適正な維持管理に努めました。

平成28年度上半期の給水状況は下記のとおりでした。

給水戸数は前年同期と比べ1%前後増加しています。給水量、料金については、次毎に変動はあるものの上半期としては、微増しています。

月	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %
	給水戸数 戸	給水戸数 戸		給水量 m ³	給水量 m ³		水道料金 (消費税込み) 千円	水道料金 (消費税込み) 千円	
4月	20,508	20,325	0.9	801,054	757,878	5.7	158,640	151,326	4.8
5月	18,498	18,339	0.9	766,610	743,169	3.2	144,819	140,890	2.8
6月	20,680	20,455	1.1	824,364	844,524	△ 2.4	161,840	166,021	△ 2.5
7月	18,525	18,391	0.7	805,104	816,486	△ 1.4	151,363	153,333	△ 1.3
8月	20,742	20,513	1.1	858,037	851,091	0.8	168,601	167,445	0.7
9月	18,562	18,433	0.7	849,265	873,350	△ 2.8	159,293	163,875	△ 2.8
上半期 合 計	117,515	116,456	0.9	4,904,434	4,886,498	0.4	944,556	942,890	0.2

※偶数月は、穂高・三郷地域が対象で、奇数月は、豊科・堀金・明科地域が対象となります。

II 水道事業会計予算の執行状況

平成28年度（4月1日から9月30日まで）の水道事業会計予算の執行状況は以下のとおりです。

(1) 収益的収支

ア 収入

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
営業収益	給水収益	1,868,500	944,556	50.55%
	受託工事収益	5,200	0	0.00%
	その他営業収益	152,257	12,126	7.96%
営業外収益	受取利息及び配当金	8,600	423	4.92%
	雑収益	101	253	250.50%
	長期前受金戻入	286,448	0	0.00%
特別利益	固定資産売却収益	0	0	
	過年度損益修正益	0	0	
	その他特別利益	0	0	
合	計	2,321,106	957,358	41.25%

イ 支出

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
営業費用	原水及び浄水費	268,857	79,053	29.40%
	配水及び給水費	288,076	71,944	24.97%
	受託工事費	5,200	317	6.10%
	総係費	156,044	64,963	41.63%
	減価償却費	1,080,389	0	0.00%
	資産減耗費	38,446	0	0.00%
	その他営業費用	24	0	0.00%
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	174,087	88,748	50.98%
	雑支出	0	0	
	消費税及び地方消費税	55,799	0	0.00%
特別損失	固定資産売却損	0	0	
	過年度損益修正損	2,000	2,490	124.50%
	その他特別損失	0	0	
予	備 費	10,000	0	0.00%
合	計	2,078,922	307,515	14.79%

(2) 資本的収支

ア 収入

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
負	担 金	75,166	24,028	31.97%
補	助 金	0	0	
出	資 金	0	0	
合	計	75,166	24,028	31.97%

イ 支出

(単位:千円、税込)

項	目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
建設改良費	配水設備工事費	704,157	64,638	9.18%
	量水器費	1,138	0	0.00%
	固定資産購入費	15,591	2,217	14.22%
	拡張事業費	0	0	
	改良費	561	0	0.00%
企 業 債 償 還 金		641,601	319,095	49.73%
合	計	1,363,048	385,950	28.32%

※ 予算額には、繰越事業費19,289千円を含む。

Ⅲ 水道事業の損益の状況（平成28年4月1日から9月30日まで）

上半期における損益は193,968千円の純利益（上半期）となり、前年度純利益（上半期）と比べ37,467千円増加しました。

これは、原水及び浄水費に係る動力費の減少（△22,194千円）や企業債に係る支払利息の減額（△7,722千円）など費用が減少したためです。

		(単位：千円)
1	営業収益	886,137
2	営業費用	
	(減価償却費については、予定額の2分の1を計上)	745,030
	営業利益	141,107
3	営業外収益	143,893
	(長期前受金戻入については、予定額の2分の1を計上)	
4	営業外費用	91,238
	経常利益	193,762
5	特別利益	0
6	特別損失	0
	当年度純利益（上半期）	193,762
	前年度繰越利益剰余金	206
	その他未処分利益剰余金変動額	0
	当年度未処分利益剰余金（上半期）	193,968

IV 水道事業貸借対照表（平成28年9月30日）

資 産 の 部

1 固定資産

	千円	千円	千円	千円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		568,467		
ロ 建物	1,126,165			
減価償却累計額	<u>△ 343,273</u>	782,892		
ハ 構築物	34,458,942			
減価償却累計額	<u>△ 14,668,041</u>	19,790,901		
ニ 機械及び装置	5,778,874			
減価償却累計額	<u>△ 3,778,741</u>	2,000,133		
ホ 車両及び運搬具	29,429			
減価償却累計額	<u>△ 19,608</u>	9,821		
ヘ 工具器具及び備品	44,364			
減価償却累計額	<u>△ 33,191</u>	11,173		
ト 建設仮勘定		<u>54,176</u>		
有形固定資産合計			23,217,563	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		19,685		
ロ 電話加入権		<u>161</u>		
無形固定資産合計			19,846	
(3) 投資				
イ 投資その他資産		<u>39</u>		
投資合計			<u>39</u>	
固定資産合計				23,237,448

(注) 固定資産については、年度末に予定している減価償却費の2分の1相当額を減価償却累計額に計上しています。

2 流動資産

(1) 現金預金			3,382,436	
(2) 未収金		186,980		
貸倒引当金		<u>△ 1,692</u>	185,288	
(3) 貯蔵品			9,612	
(4) 前払金			27,840	
(5) その他流動資産			<u>17,094</u>	
流動資産合計				<u>3,622,270</u>
資産合計				<u>26,859,718</u>

固定資産の状況

固定資産における上半期分減価償却費計上額は540,195千円で、償却後の固定資産計上額は23,237,448千円となります。

流動資産の状況

9月末現在における現金預金の保有額は3,382,436千円です。また、未収金については186,980千円となっています。

負債の部

	千円	千円	千円	千円
3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			7,754,862	
固定負債合計				7,754,862
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			322,504	
(2) 引当金				
イ 修繕引当金		70,313		
引当金合計			70,313	
(3) 前受金			0	
(4) その他流動負債			72,333	
流動負債合計				465,150
5 繰延収益				
長期前受金			11,932,094	
収益化累計額			△ 5,498,071	
繰延収益合計				6,434,023
負債合計				14,654,035

(注) 繰延収益については、年度末に予定している長期前受金戻入の2分の1相当額を収益化累計額に計上しています。

資本の部

6 資本金				10,399,896
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
イ 受贈財産評価額		2,757		
ロ 工事負担金		186,648		
ハ その他資本剰余金		3,969		
ニ 補助金		645		
資本剰余金合計			194,019	
(2) 利益剰余金				
イ 建設改良積立金		1,367,000		
ロ 高家配水場等施設改良積立金		50,800		
ハ 当年度末処分利益剰余金（上半期）		193,968		
利益剰余金合計			1,611,768	
剰余金合計				1,805,787
資本合計				12,205,683
負債資本合計				26,859,718

固定負債・流動負債の状況

企業債は9月に319,095千円の定期償還を行い、当年度末には7,754,862千円の残高となる見込みです。

利益剰余金の状況

建設改良積立金、高家配水場等施設改良積立金、当年度末処分利益剰余金（上半期）の合計は1,611,768千円となる見込みです。

V 下水道事業の状況

(1) 事業の概要

下水道処理を適正に行うため、計画的な整備を行うとともに下水道接続の促進に努めました。

平成28年度上半期の汚水処理状況は下記のとおりでした。

排水戸数、汚水量、下水道使用料とも昨年同期と比べて3%前後増えています。下水道接続戸数の増加によるものです。

月	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %
	排水戸数 戸	排水戸数 戸		汚水量 m ³	汚水量 m ³		下水道使用料 (消費税込み) 千円	下水道使用料 (消費税込み) 千円	
4月	14,639	14,213	3.0	733,818	698,981	5.0	154,237	147,808	4.3
5月	13,649	13,189	3.5	582,980	543,379	7.3	121,672	113,870	6.9
6月	14,842	14,574	1.8	700,958	673,268	4.1	148,409	142,886	3.9
7月	13,755	13,280	3.6	592,048	589,530	0.4	122,826	121,920	0.7
8月	14,876	14,660	1.5	726,477	723,445	0.4	153,015	152,251	0.5
9月	13,805	13,368	3.3	614,143	600,471	2.3	127,260	124,347	2.3
上半期 合 計	85,566	83,284	2.7	3,950,424	3,829,074	3.2	827,419	803,082	3.0

※偶数月は、豊科・堀金・明科地域が対象で、奇数月は、穂高・三郷地域が対象となります。

VI 下水道事業会計の予算の執行状況

平成28年度（4月1日から9月30日まで）の執行状況は以下のとおりです。

(1) 収益的収支

ア 収入

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)	
営業収益	下水道使用料	1,659,380	827,419	49.86%
	他会計負担金	2,010	0	0.00%
	受託工事収益	552	219	39.67%
	その他営業収益	2,139	826	38.62%
営業外収益	他会計負補助金	1,703,273	864,899	50.78%
	長期前受金戻入	738,733	0	0.00%
	雑収益	5,029	101	2.01%
特別利益	固定資産売却収益	0	0	
	過年度損益修正益	0	0	
	その他特別利益	0	0	
合 計	4,111,116	1,693,464	41.19%	

イ 支出

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)	
営業費用	管きよ費	871,604	310,635	35.64%
	処理場費	43,770	2,854	6.52%
	浄化槽費	2,181	200	9.17%
	農業集落排水費	52,407	6,893	13.15%
	受託工事費	552	199	36.05%
	総係費	200,443	52,024	25.95%
	減価償却費	1,936,628	0	0.00%
	資産減耗費	24,920	0	0.00%
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	736,827	370,620	50.30%
	雑支出	0	0	
	消費税及び地方消費税	61,301	0	0.00%
特別損失	固定資産売却損	0	0	
	過年度損益修正損	10,610	1,336	12.59%
	その他特別損失	7,748	7,588	97.93%
予 備 費	2,000	0	0.00%	
合 計	3,950,991	752,349	19.04%	

(2) 資本的収支

ア 収入

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)
企 業 債	304,800	0	0.00%
受 益 者 負 担 金	89,404	100,855	112.81%
工 事 負 担 金	14,500	0	0.00%
国 庫 補 助 金	17,250	0	0.00%
他 会 計 補 助 金	568,023	568,023	100.00%
合 計	993,977	668,878	67.29%

イ 支出

(単位:千円、税込)

項 目	予 算 額	執 行 額	執行率 (%)	
建設改良費	管きよ工事費	218,905	49,254	22.50%
	農業集落排水工事	1,200	677	56.42%
	流域下水道事業費	137,500	0	0.00%
	固定資産購入費	5,832	0	0.00%
	排水設備工事費	1,297	84	6.48%
企 業 債 償 還 金	2,136,305	1,062,301	49.73%	
合 計	2,501,039	1,112,316	44.47%	

Ⅶ 下水道事業の損益の状況（平成28年4月1日から9月30日まで）

上半期における損益は304,902千円の純利益（上半期）となりました。

		(単位：千円)
1	営業収益	767,156
2	営業費用	
	(減価償却費については、予定額の2分の1を計上)	1,317,077
	営業損失	549,921
3	営業外収益	1,234,367
	(長期前受金戻入については、予定額の2分の1を計上)	
4	営業外費用	370,620
	経常利益	313,826
5	特別利益	0
6	特別損失	8,924
	当年度純利益（上半期）	304,902
	前年度繰越利益剰余金	0
	その他未処分利益剰余金変動額	0
	当年度未処分利益剰余金（上半期）	304,902

Ⅷ 下水道事業の貸借対照表（平成28年9月30日）

資 産 の 部

1 固定資産

	千円	千円	千円	千円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		424,186		
ロ 建物	667,396			
減価償却累計額	△ 8,815	658,581		
ハ 構築物	60,056,274			
減価償却累計額	△ 763,265	59,293,009		
ニ 機械及び装置	1,560,463			
減価償却累計額	△ 110,312	1,450,151		
ホ 車両及び運搬具	390			
減価償却累計額	△ 88	302		
ヘ 工具器具及び備品	0			
減価償却累計額	0	0		
ト 建設仮勘定		460		
有形固定資産合計			61,826,689	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		4,789,096		
ロ 電話加入権		0		
無形固定資産合計			4,789,096	
(3) 投資				
イ 投資その他資産		0		
投資合計			0	
固定資産合計				66,615,785

(注) 固定資産については、年度末に予定している減価償却費の2分の1相当額を減価償却累計額に計上しています。

2 流動資産

(1) 現金預金			723,461	
(2) 未収金		252,572		
貸倒引当金		0	252,572	
(3) 貯蔵品			115	
(4) 前払金			84,140	
(5) その他流動資産			27,777	
流動資産合計				1,088,065
資産合計				67,703,850

固定資産の状況

固定資産における上半期分減価償却費計上額は968,314千円で、償却後の固定資産計上額は66,615,785千円となります。

流動資産の状況

9月末現在における現金預金の保有額は723,461千円です。また、未収金については252,572千円となっています。

負債の部

	千円	千円	千円	千円
3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			34,475,507	
固定負債合計				34,475,507
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債			1,074,003	
(2) 引当金				
イ 修繕引当金		0		
引当金合計			0	
(3) 未払金			15,570	
(4) その他流動負債			61,307	
流動負債合計				1,150,880
5 繰延収益				
長期前受金			26,418,394	
収益化累計額			△ 369,367	
繰延収益合計				26,049,027
負債合計				61,675,414

(注) 繰延収益については、年度末に予定している長期前受金戻入の2分の1相当額を収益化累計額に計上しています。

資本の部

6 資本金				5,248,589
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
イ 受贈財産評価額		0		
ロ 補助金		212,093		
ハ 工事負担金		161,335		
ニ その他資本剰余金		101,517		
資本剰余金合計			474,945	
(2) 利益剰余金				
イ 建設改良積立金		0		
ロ 当該年度未処分利益剰余金		304,902		
利益剰余金合計			304,902	
剰余金合計				779,847
資本合計				6,028,436
負債資本合計				67,703,850

固定負債・流動負債の状況

企業債は9月に1,062,301千円の定期償還を行い、当年度末には34,475,507千円の残高となる見込みです。

利益剰余金の状況

当年度未処分利益剰余金（上半期）は、304,902千円となります。

4 平成27年度決算状況 (1) 普通会計の決算状況

ア 地方財政状況調査（決算統計）

地方財政状況調査とは、地方自治法第252条の17の5に基づいて行われる調査で、地方財政法第30条の2の規定により、国会に報告されるとともに公表されます。

地方財政状況調査は、当該年度の決算に基づいて行われますが、地方公共団体には多様な会計が存在していることから、「普通会計」と「公営事業会計」の2つに分けて調査することとされています。

なお、地方公共団体間の画一性をとるため、統計的な要素を加味しながら調査するため、各会計毎の実決算額と地方財政状況調査における決算額には差異があると同時に、目的別、性質別経費の計上方法にも違いがあります。これは、全国統一の方法により、集計を行うことにより、全国的に地方公共団体間の比較分析を行うためです。

また、公営事業会計のうちの公営企業会計については、別に調査されています。安曇野市においては、下水道事業、農業集落排水事業、産業団地造成事業特別会計、水道事業、観光宿泊施設特別会計が該当します。

ここでは、地方財政状況調査対象のうち、普通会計を中心にその概要を説明します。

イ 地方財政状況調査対象会計の状況

単位：千円

	実決算額			地方財政状況調査の決算額				摘 要 (実決算額と違いが生じる要素)
	歳入決算額	歳出決算額	収 支	会計	歳入決算額	歳出決算額	収 支	
一 般 会 計	42,075,162	41,286,375	788,787	普通会計	42,067,526	41,278,739	788,787	普通会計内の繰出・繰入(918)を控除
同和地区住宅新築資金貸付事業特別会計	943	943	0					後期高齢者医療広域連合で経理する職員人件費分(7,661)を控除
国民健康保険特別会計	12,520,906	12,126,436	394,470	同 左	12,632,561	12,238,091	394,470	国民健康保険事業に対応する人件費(111,655)を追加
後期高齢者医療特別会計	997,811	981,809	16,002	同 左	1,019,721	1,003,719	16,002	後期高齢者医療事業に対応する人件費(51,498)を追加 後期高齢者医療広域連合で経理する事務費分(29,588)を控除
介 護 保 険 特 別 会 計	8,474,720	8,434,548	40,172	保険事業勘定	8,561,259	8,521,087	40,172	介護保険事業に対応する人件費(108,200)を追加
				介護サービス事業勘定	21,661	21,661	0	介護サービス分を分離
上川手山林財産区特別会計	4,051	3,468	583	財産区	9,301	6,413	2,888	
北の沢山林財産区特別会計	868	280	588					
有明山山林財産区特別会計	1,324	777	547					
富士尾沢山林財産区特別会計	1,620	1,041	579					
穂高山林財産区特別会計	1,438	847	591					

ウ 地方財政状況調査等による普通会計の決算状況

平成27年度普通会計歳入決算額は、前年度対比3.5%減の420億6,700万円、歳出決算額は前年度対比2.6%減の412億7,900万円で、形式収支は7億8,800万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源1億1,200万円を除いた実質収支は、6億7,600万円の黒字となりました。

【歳入】

個人市民税については、納税義務者の減少により1,500万円の減額、法人市民税については電子部品デバイス製造業、自動車関連製造業の落ち込みと税率変更により2億9,700万円の減額となりました。

消費税率の改定により地方消費税交付金については、7億3,400万円の増額となりました。

地方交付税については、1億7,300万円の増額となりました。

使用料及び手数料については、第3子の保育料無料化事業などに伴い2,400万円の減少となりました。

国県支出金については、地域住民生活等緊急支援のための交付金（地域消費喚起・生活支援型、地方創生先行型）事業の繰越明許費などにより2億4,000万円の増加となりました。

地方債については、庁舎建設に伴う旧合併特例事業債19億5,200万円、防災行政無線整備事業債3億3,500万円など、旧合併特例事業債の減額により35億100万円の減額となりました。

諸収入等については、ふるさと寄附7億4,600万円の増加などにより11億6,200万円の増加となりました。

歳入決算額

(単位：千円)

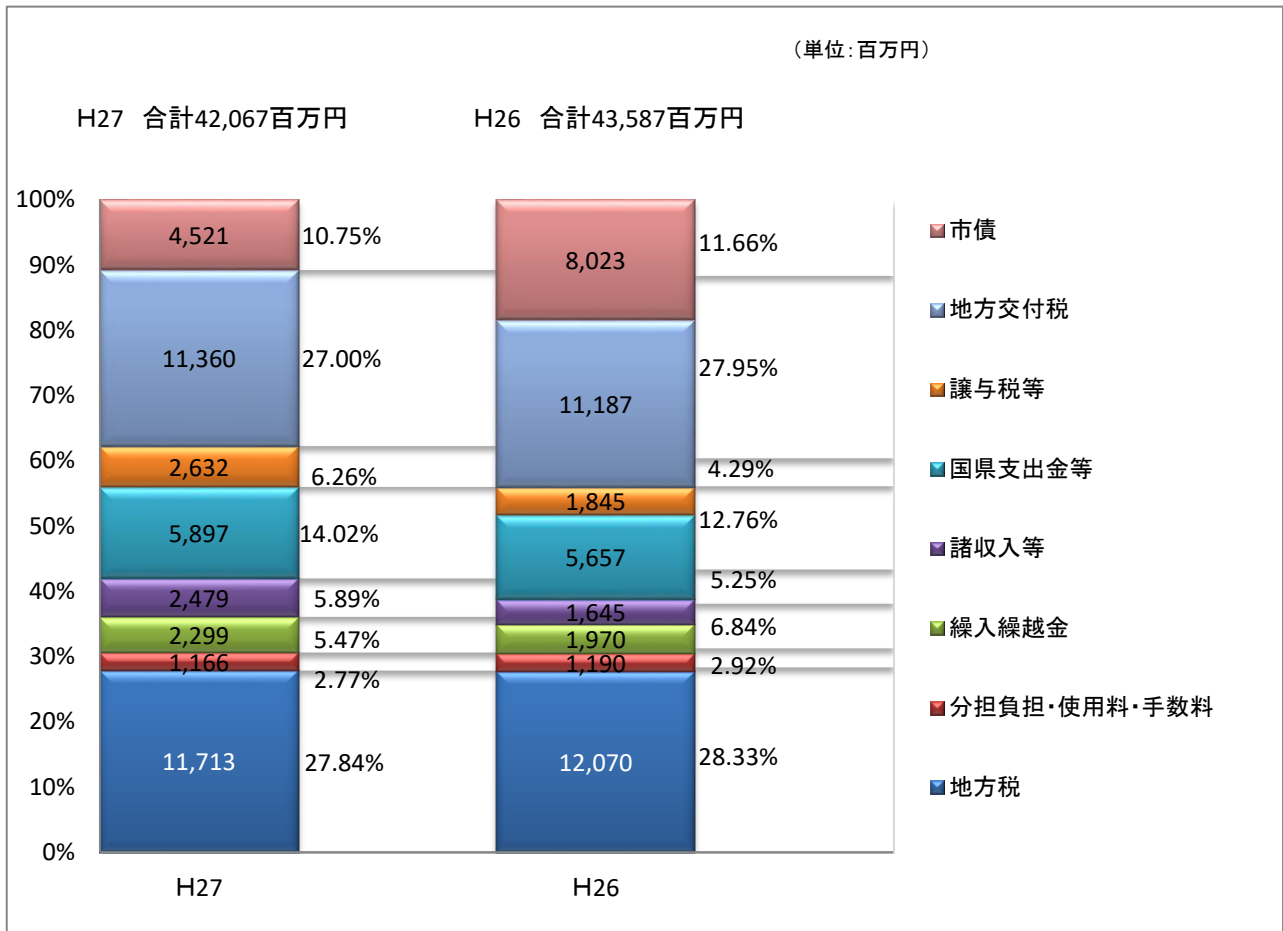
	地 方 税	譲 与 税 等	地方交付税	分担・負担 使用・手数料	国県支出金 交 交 付 金	市 債	諸 収 入 等	合 計
平成27年度	11,712,855	2,632,460	11,360,019	1,166,052	5,897,129	4,520,900	4,778,111	42,067,526
平成26年度	12,070,113	1,845,067	11,186,858	1,190,368	5,657,068	8,022,600	3,615,498	43,587,572
比 較	△ 357,258	787,393	173,161	△ 24,316	240,061	△ 3,501,700	1,162,613	△ 1,520,046

歳入款名	増 減	主 な 増 減 内 容 (増 減 額)
地 方 税	△ 357,258	個人市民税 (△1,500万円)、法人市民税 (△2億9,700万円)、純固定資産税 (△7,000万円)
譲 与 税 等	787,393	地方消費税交付金 (7億3,400万円)、地方譲与税 (2,100万円)、自動車取得税交付金 (4,100万円)
地方交付税	173,161	【普通交付税】 基準財政収入額：主な費目 地方消費税交付金の増額 (4億7,300万円) 株式等譲渡所得割交付金の増額 (1,200万円) 臨時財政対策債発行可能額 (△1億8,900万円) 基準財政需要額：主な費目 人口減少等特別対策事業費の創設 (2億3,700万円) 地域の元気創造事業費の増額 (2,400万円) 公債費 (1億7,900万円) 【特別交付税】 (△8,200万円)
国県支出金	240,061	地方消費喚起・生活支援型交付金：1億4,300万円 (商業振興事業：1億2,700万円・受入態勢整備事業：1,600万円) 地方創生先行型交付金：6,900万円 (まち・ひと・しごと総合戦略：1,000万円・子育て応援手当：4,100万円 他)
市 債	△ 3,501,700	庁舎建設に伴う旧合併特例事業債 (△19億5,200万円) 防災行政無線整備事業に伴う旧合併特例事業債 (△3億3,500万円) 体育施設整備事業に伴う旧合併特例事業債 (△9億4,200万円) 一般会計出資債 (上水道分)に伴う旧合併特例事業債 (△2億9,600万円)

※譲与税等は地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金等を合算した額。

諸収入等は財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入を合算したものの。

歳入決算の構成状況



【歳出】

総務費については、ふるさと寄附記念品、ふるさと寄附金基金積立金などで10億1,300万円の増額、また、穂高・三郷・堀金支所等整備事業12億6,600万円の増額に対し、本庁舎建設本体工事27億6,900万円の減額などにより11億8,400万円の減額になりました。

民生費については、児童館整備事業等1億1,200万円、認定子ども園整備補助金1億2,500万円、国民健康保険事業への繰出金1億3,800万円の増額などに対し、保育園建設事業4億3,200万円、臨時福祉給付金9,500万円、子育て世帯臨時特例給付金7,900万円の減額などにより1億700万円の減額になりました。

衛生費については、安曇野市水道事業第1次拡張事業出資金2億200万円の減額などにより2億5,600万円の減額になりました。

農林水産業費については、降雪災害復旧補助金1億6,400万円、強い農業づくり交付金1億8,800万円の減額などに対し、国営中信平第2期事業負担金2億5,500万円、多面的活動支援補助金1億5,200万円などの増額により1億4,400万円の増額になりました。

商工費については、しゃくなげの湯整備事業2億2,300万円、安曇野市山岳環境整備基金積立金1億1,900万円の増額などにより、6億4,500万円の増額になりました。

土木費については、下水道特別会計繰出金2億6,000万円の増額などにより、5億2,800万円の増額になりました。

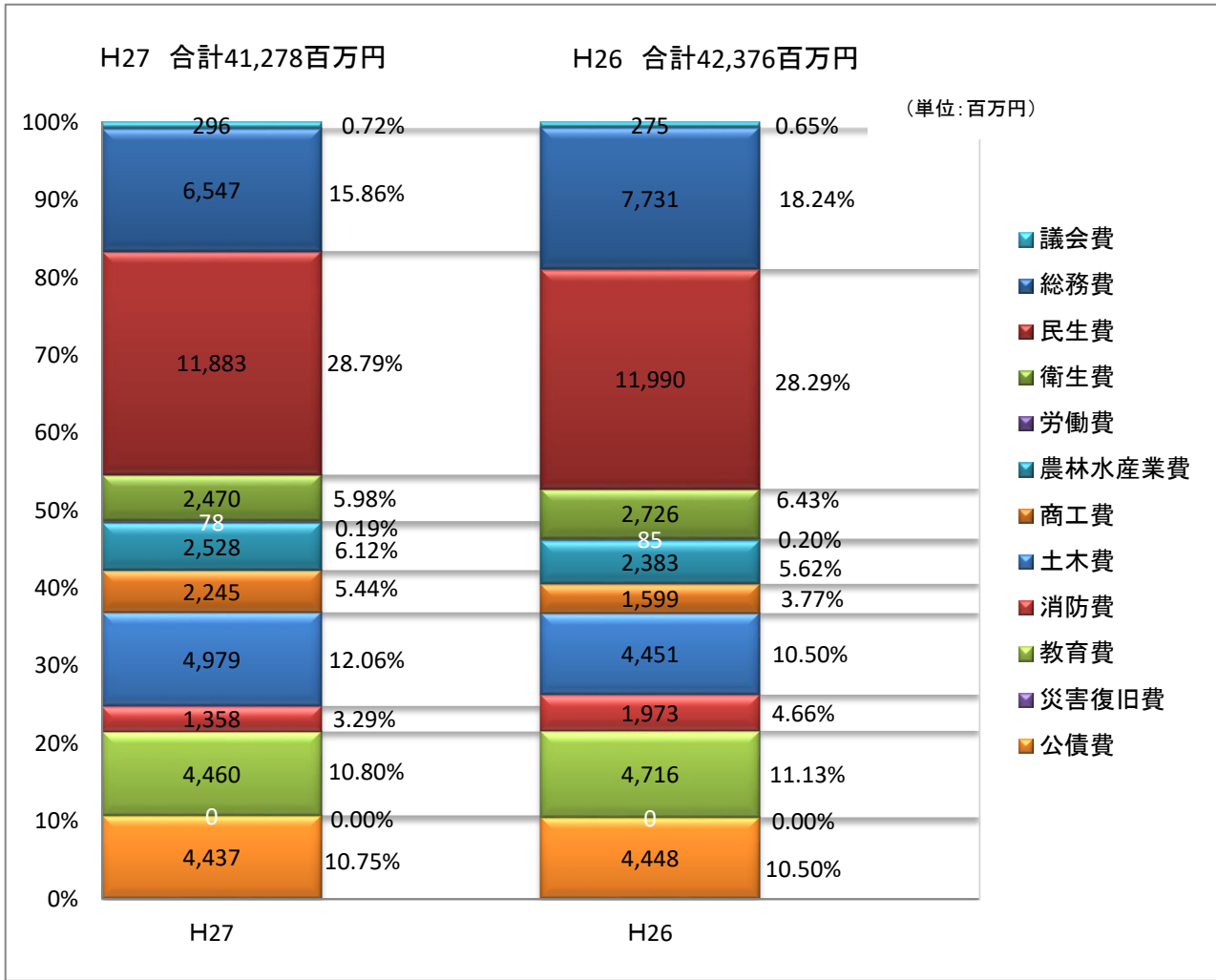
消防費については、デジタル同報系防災行政無線整備工事4億100万円、防災広場整備工事3億4,500万円の減額などにより、6億1,500万円の減額になりました。

教育費については、豊科公民館改修事業3億4,200万円、穂高幼稚園大規模改造1億5,300万円の増額に対して、穂高会館耐震補強工事9億2,700万円の減額により2億5,500万円の減額になりました。

歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

款	平成27年度	平成26年度	比 較	主な増減内容（増減額）			
議 会 費	295,908	275,335	20,573	議会映像配信ASPシステム使用料 120万円			
総 務 費	6,546,662	7,730,917	△ 1,184,255	本庁舎建設本体工事 △27億6,900万円	庁舎備品 △2億8,000万円	ふるさと寄附金基金積立金 6億2,100万円	穂高・三郷・堀金支所等整備事業 12億6,600万円
民 生 費	11,882,699	11,989,848	△ 107,149	臨時福祉給付金 △9,500万円	保育園建設事業 △4億3,200万円	認定子ども園整備補助金 1億2,500万円	国民健康保険事業繰出金 1億3,800万円
衛 生 費	2,469,691	2,726,100	△ 256,409	安曇野市筑広域環境施設組合負担金 △4,300万円	安曇野市水道事業第1次拡張事業出資金 △2億200万円		
労 働 費	77,889	84,608	△ 6,719	商工総務費 △700万円			
農 林 水 産 業 費	2,527,698	2,383,150	144,548	降雪災害復旧補助金 △1億6,400万円	強い農業づくり交付金 △1億8,800万円	国営中信平第2期事業負担金 2億5,500万円	多面的活動支援補助金 1億5,200万円
商 工 費	2,244,704	1,599,150	645,554	しゃくなげの湯整備事業 2億2,300万円	安曇野市山岳環境整備基金積立金 1億1,900万円	商業振興事業（地域消費喚起・生活支援型） 1億2,600万円	
土 木 費	4,979,127	4,450,768	528,359	下水道特別会計繰出金 2億6,000万円	社会資本整備道路改良事業等 1億500万円		
消 防 費	1,357,523	1,972,572	△ 615,049	デジタル同報系防災行政無線整備工事 △4億100万円	防災広場整備工事 △3億4,500万円		
教 育 費	4,459,715	4,715,628	△ 255,913	穂高会館耐震補強工事 △9億2,700万円	穂高幼稚園大規模改造 1億5,300万円	穂高南小学校プール改築事業 1億5,400万円	豊科公民館改修事業 3億4,200万円
災 害 復 旧 費	0	0	0				
公 債 費	4,437,123	4,447,924	△ 10,801				
合 計	41,278,739	42,376,000	△ 1,097,261				

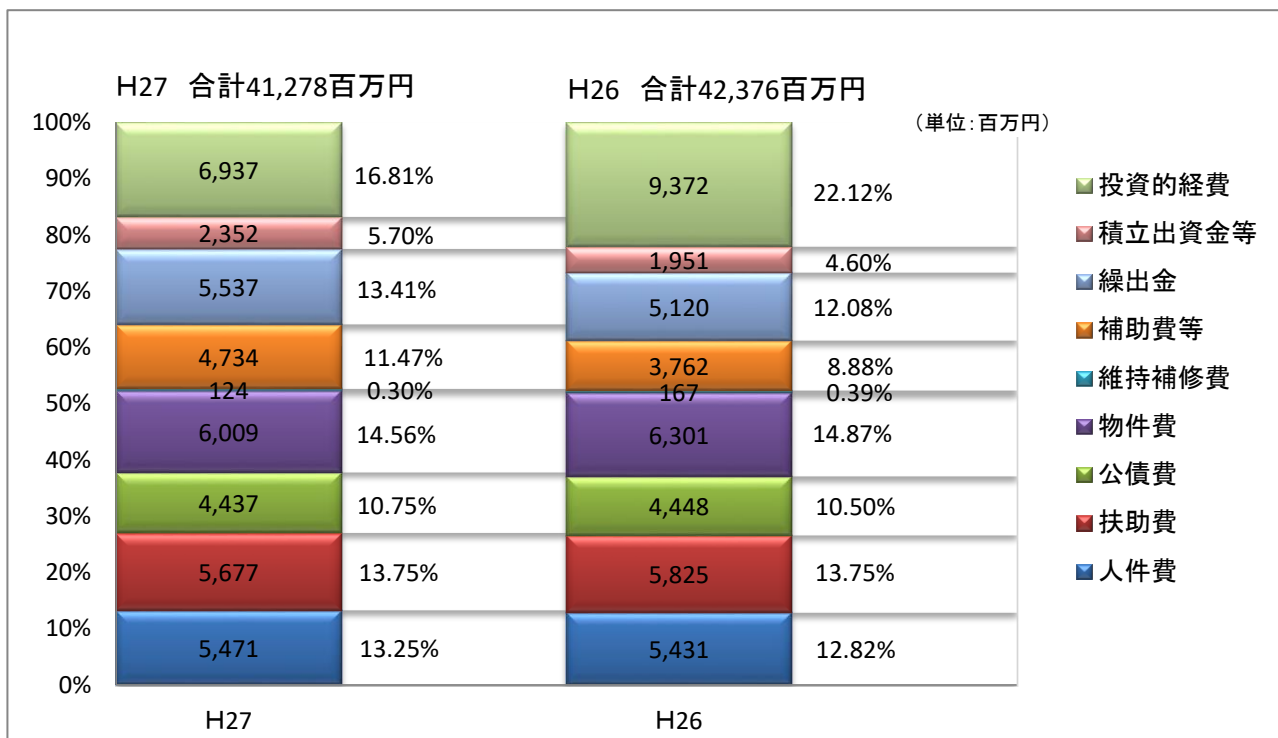


※百万円未満四捨五入により合計額は一致しません。
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区分	平成27年度	平成26年度	比較	主な増減内容（増減額）			
人件費	5,471,214	5,430,569	40,645				
扶助費	5,677,263	5,824,870	△147,607	臨時福祉給付金 △9,500万円	生活保護扶助費 △1億700万円	障がい者介護 給付費 4,400万円	
公債費	4,437,123	4,447,924	△10,801				
物件費	6,008,990	6,300,912	△291,922	庁舎備品 △2億8,000万円	電算システム保 守・更新業務 △5,900万円	松くい虫被害対 策費(伐倒処理) △7,500万円	障がい児指導講 師賃金 1,100万円
				庁舎総合管理業 務 7,800万円			
維持補修費	123,639	167,180	△43,541	防犯灯維持補修 △200万円	道路維持補修 △1,500万円	河川維持補修 △700万円	穂高公民館防 火シャッター 修理 △350万円
補助費等	4,734,444	3,761,851	972,593	降雪災害復旧補 助金 △1億6,400万円	ふるさと寄附記 念品 3億9,200万円	認定子ども園整 備補助金 1億2,500万円	多面的活動支援 補助金 1億5,200万円
				商業振興事業（地域消費喚起・生 活支援型） 1億2,600万円		農村漁村活性化プロジェクト交付 金 8,300万円	
繰出金	5,536,665	5,119,667	416,998	国民健康保険事 業繰出金 1億3,800万円	下水道特別云 計繰出金 2億6,000万 円		
積立出資金 等	2,352,226	1,951,496	400,730	安曇野市水道事業第1次拡張事 業出資金 △2億200万円		中央監視制御整備事業出資金 △9,300万円	
				ふるさと寄附金基金積立金 6億2,100万円		安曇野市山岳環境整備基金積 立金 1億1,900万円	
投資的経費	6,937,175	9,371,531	△2,434,356	本庁舎建設本体 工事 △27億6,900万円	保育園建設事業 △4億3,200万円	穂高会館耐震補 強工事 △9億2,700万円	デジタル同報系 防災行政無線整 備工事 △4億100万円
				穂高幼稚園大規 模改造 1億5,300万円	穂高南小学校 プール改築事業 1億5,400万円	豊科公民館改修 事業 3億4,200万円	穂高・三郷・堀 金支所等整備事 業 12億6,600万円
歳出合計	41,278,739	42,376,000	△1,097,261				

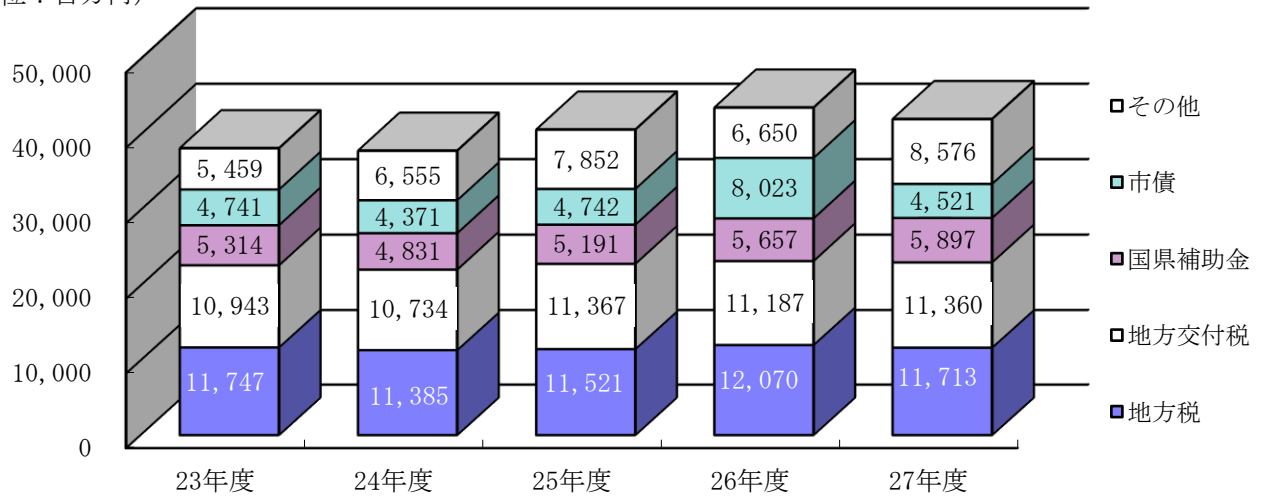


※百万円未満四捨五入により合計額は一致しません。

エ 普通会計決算額等の推移状況

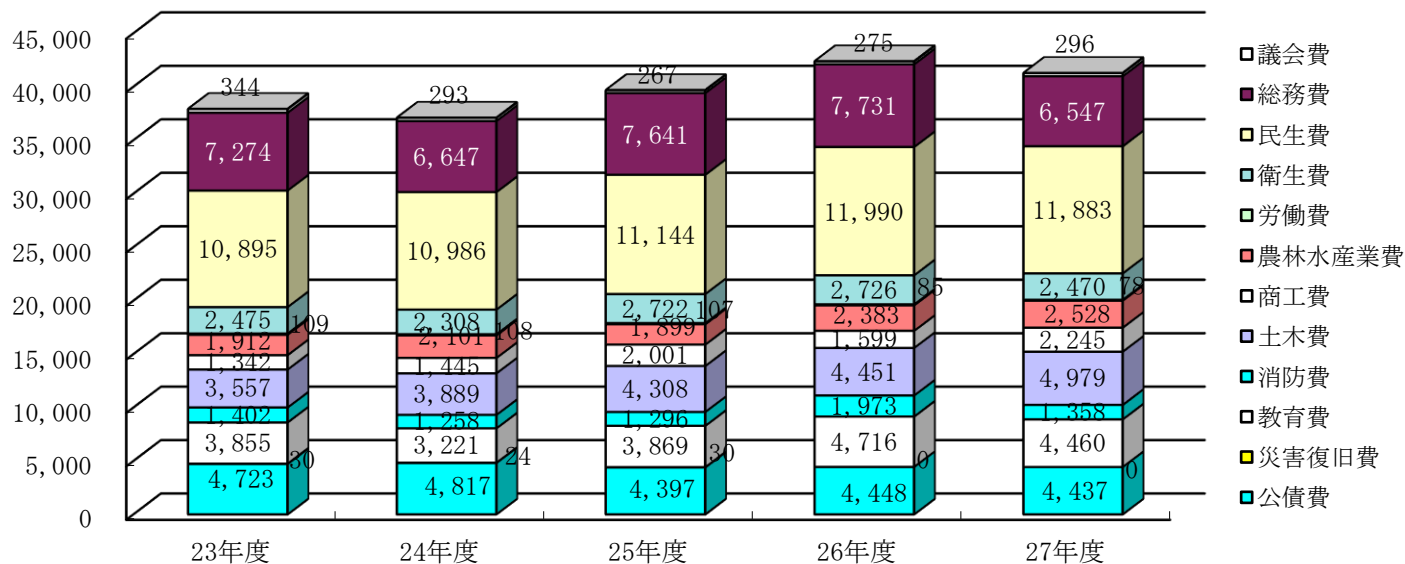
歳入の推移

(単位：百万円)



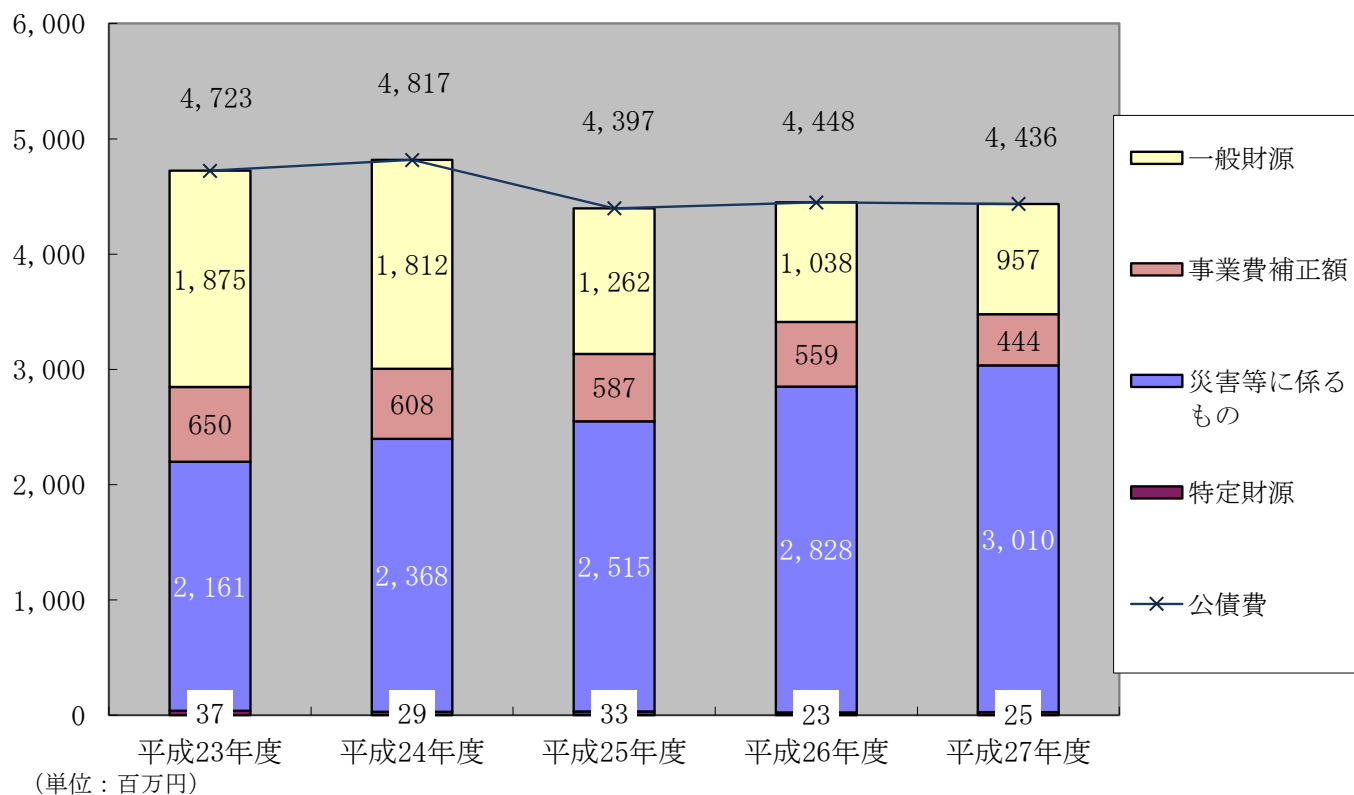
目的別歳出内訳（普通会計）
目的別歳出の推移

(単位：百万円)



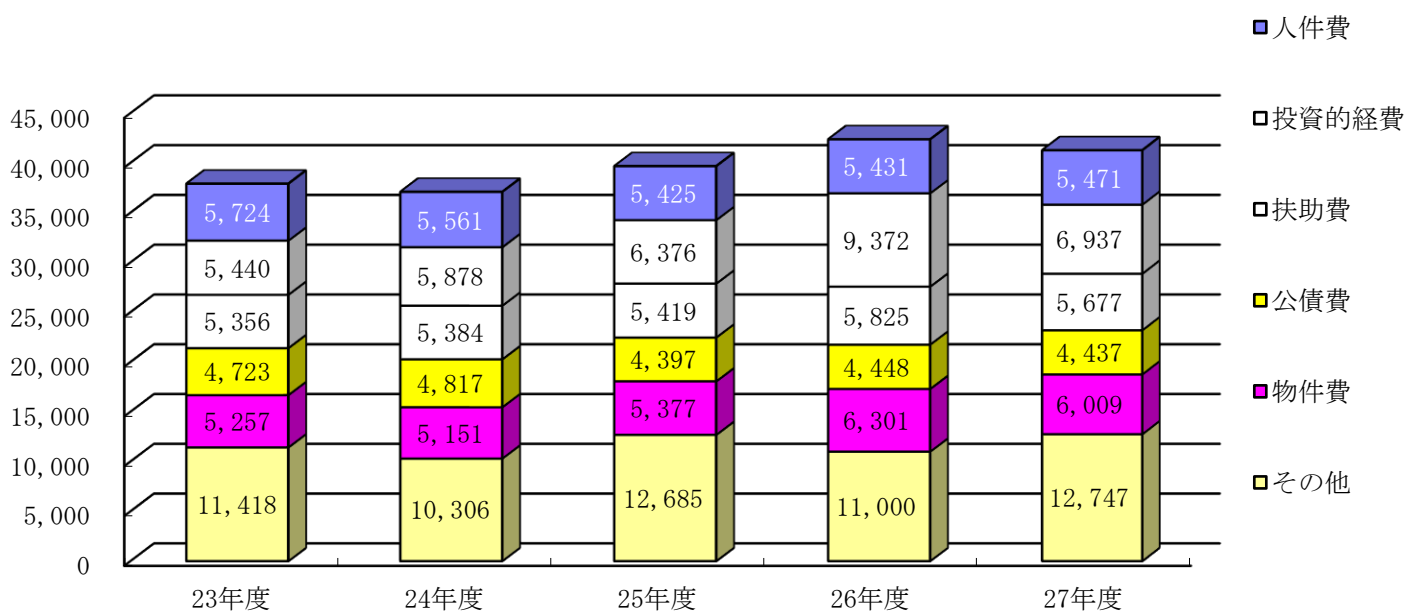
公債費の財源分析

公債費の財源内訳

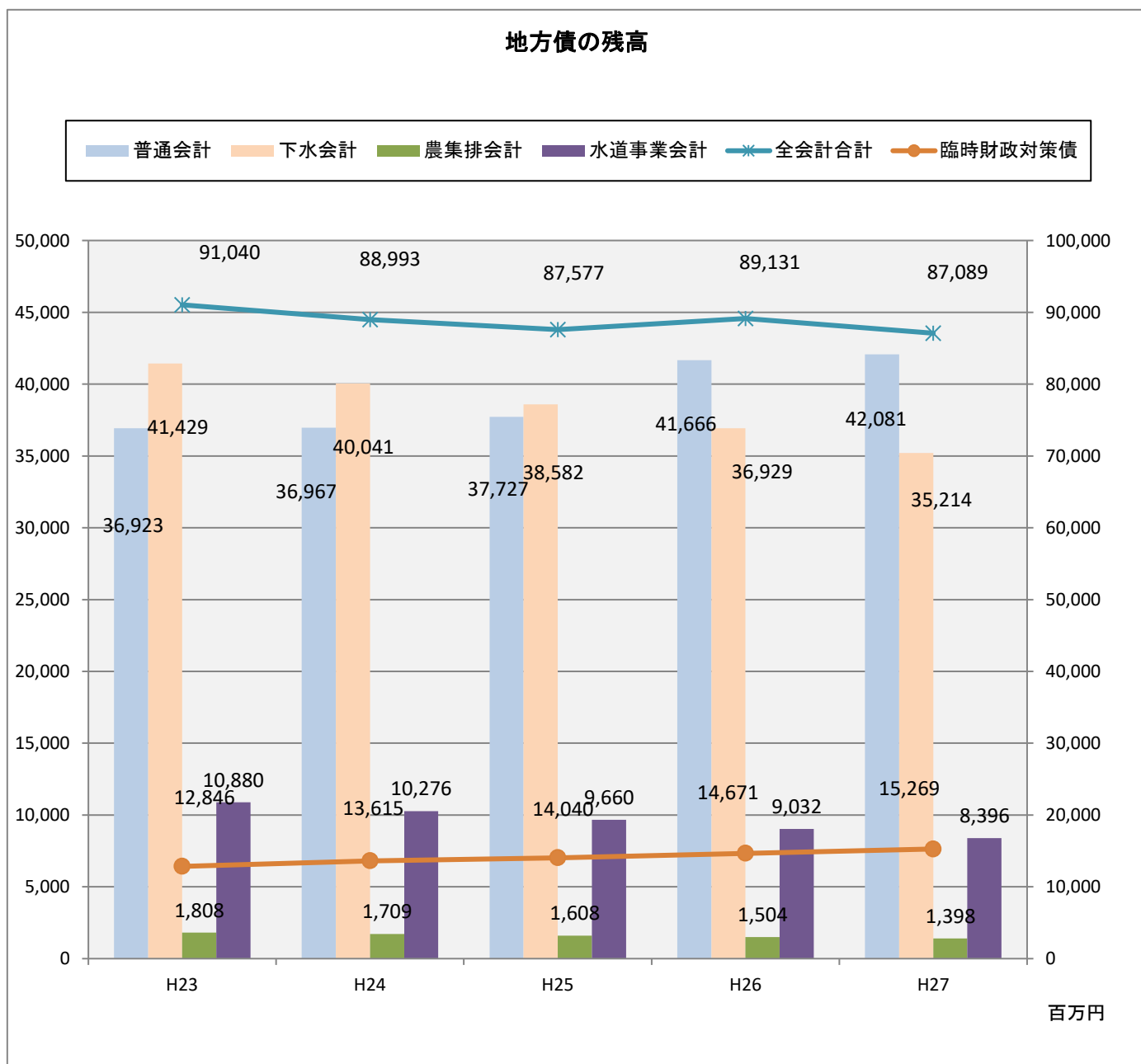


性質別歳出の推移

(単位：百万円)



○地方債残高の推移（公営企業を含む）



【参考】 旧合併特例事業債等の発行内訳

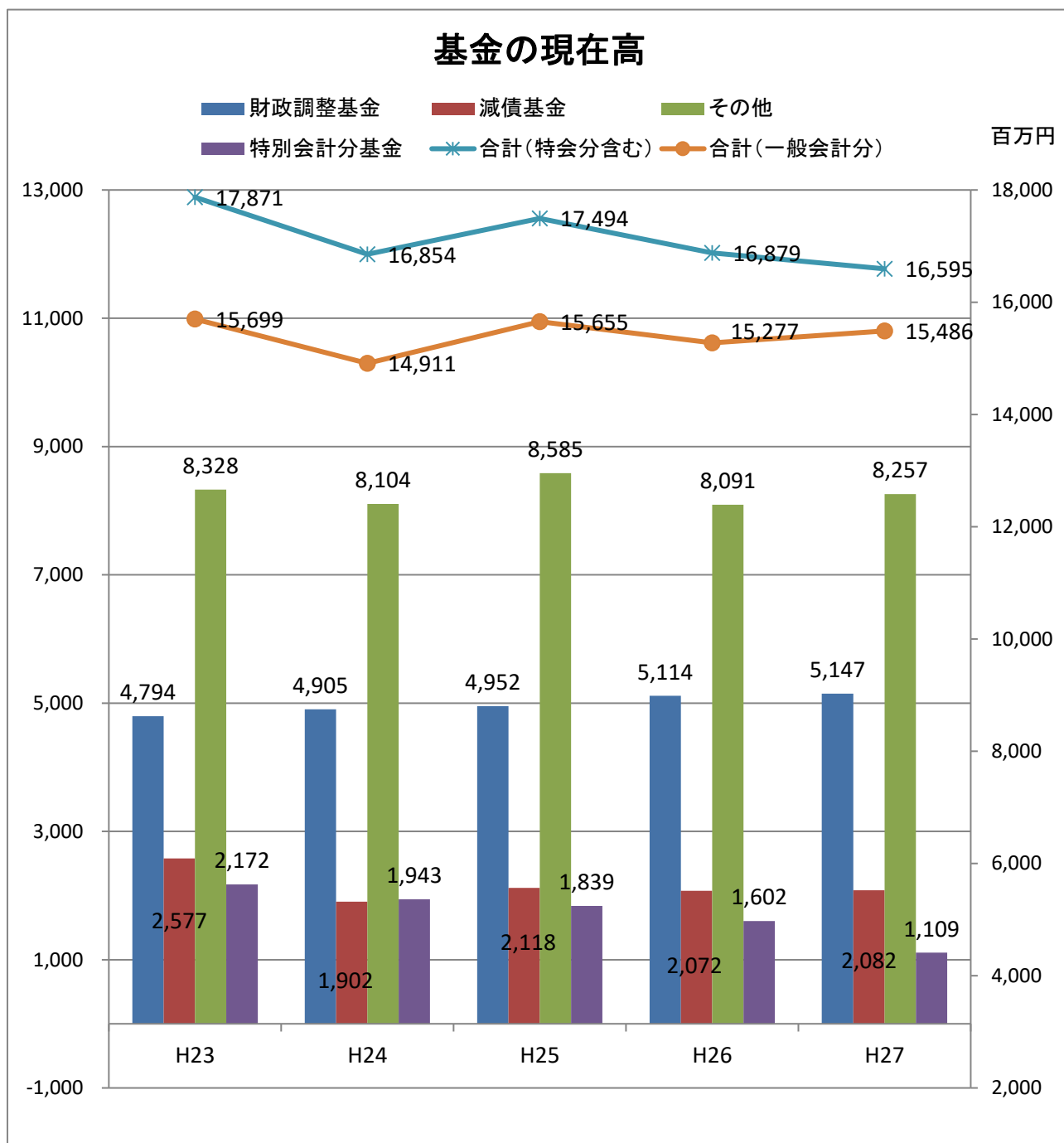
(単位：百万円)

平成17年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
臨時財政対策債	1,277.6	臨時財政対策債	400.0	臨時財政対策債	1,000	臨時財政対策債	1,554
旧合併特例事業債	4.4	旧合併特例事業債	3,177.0	旧合併特例事業債	1,685.8	旧合併特例事業債	2,006.1
中部・南部給食センター	4.4	中部・南部給食センター	964.3	穂高交流学习センター	348.2	穂高交流学习センター	66.0
平成18年度		穂高交流学习センター	463.8	有明保育園	576.4	豊科交流学习センター	69.5
臨時財政対策債	1,177.7	三郷児童館	202.5	安曇野赤十字病院建設補助	459.5	有明保育園	118.7
合併特例債 計	1,772.6	豊岳荘建設補助	171.0	堀金保育園	301.7	安曇野赤十字病院建設補助	1,641.3
中部・南部給食センター	376.1	有明保育園	149.9			防災行政無線	38.3
豊岳荘建設補助	171.0	地域振興基金	1,225.5			龍門淵公園	72.3
地域振興基金	1,225.5						

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
臨時財政対策債	2647.0	臨時財政対策債	1968.6	臨時財政対策債	1620.0	臨時財政対策債	1500.0
合併特例債 計	2,027.1	合併特例債 計	2,673.5	合併特例債 計	2,455.1	合併特例債 計	3,000.2
堀金児童館	45.1	新本庁舎	871.0	新本庁舎	1,610.1	体育施設 (高家、県民、穂高 会館)	682.8
豊科交流学习センター	321.2	明科総合支所	241.9	明科総合支所	217.8	庁舎建設	1,253.8
豊科南部保育園	58.9	北穂高保育園	100.6	防災広場	3.7	保育所	179.2
安曇野赤十字病院建設補助	1,188.4	防災行政無線	183.5	三郷南部保育園	130.7	防災行政無線	32.2
防災行政無線	139.3	北部給食センター	706.5	北穂高保育園	88.4	上水道出資	383.2
北部給食センター	274.2	地域振興基金	570.0	市道新設改良事業	57.8	豊科交流学习センター	141.6
				豊科交流学习センター	71.2	温浴施設	113.5
				県民グラウンド	91.1	市道新設改良	213.9
				穂高会館	24.9		
				南部グラウンド	159.4		

平成26年度		平成27年度	
臨時財政対策債	1700.0	臨時財政対策債	1600.0
合併特例債 計	5,780.2	合併特例債 計	2,303.5
庁舎建設事業(本庁舎)	2,714.9	庁舎建設事業(穂高支所)	250.8
庁舎建設事業(穂高支所)	11.2	庁舎建設事業(三郷支所)	494.1
防災行政無線	385.7	庁舎建設事業(堀金支所)	353.9
防災広場	324.8	三郷北部保育園	15.9
市道新設改良	265.1	温浴施設(しゃくなげの湯)	168.4
穂高会館	865.3	市道新設改良	181.9
豊科公民館	365.0	防災行政無線	50.2
南部多目的広場	189.6	豊科公民館	694.9
温浴施設(しゃくなげの湯)	17.4	三郷交流学习センター	2.7
保育園(アガス、三郷南部)	253.7	水道事業出資金	90.7
水道事業出資金	387.5		

○基金の現在高の推移



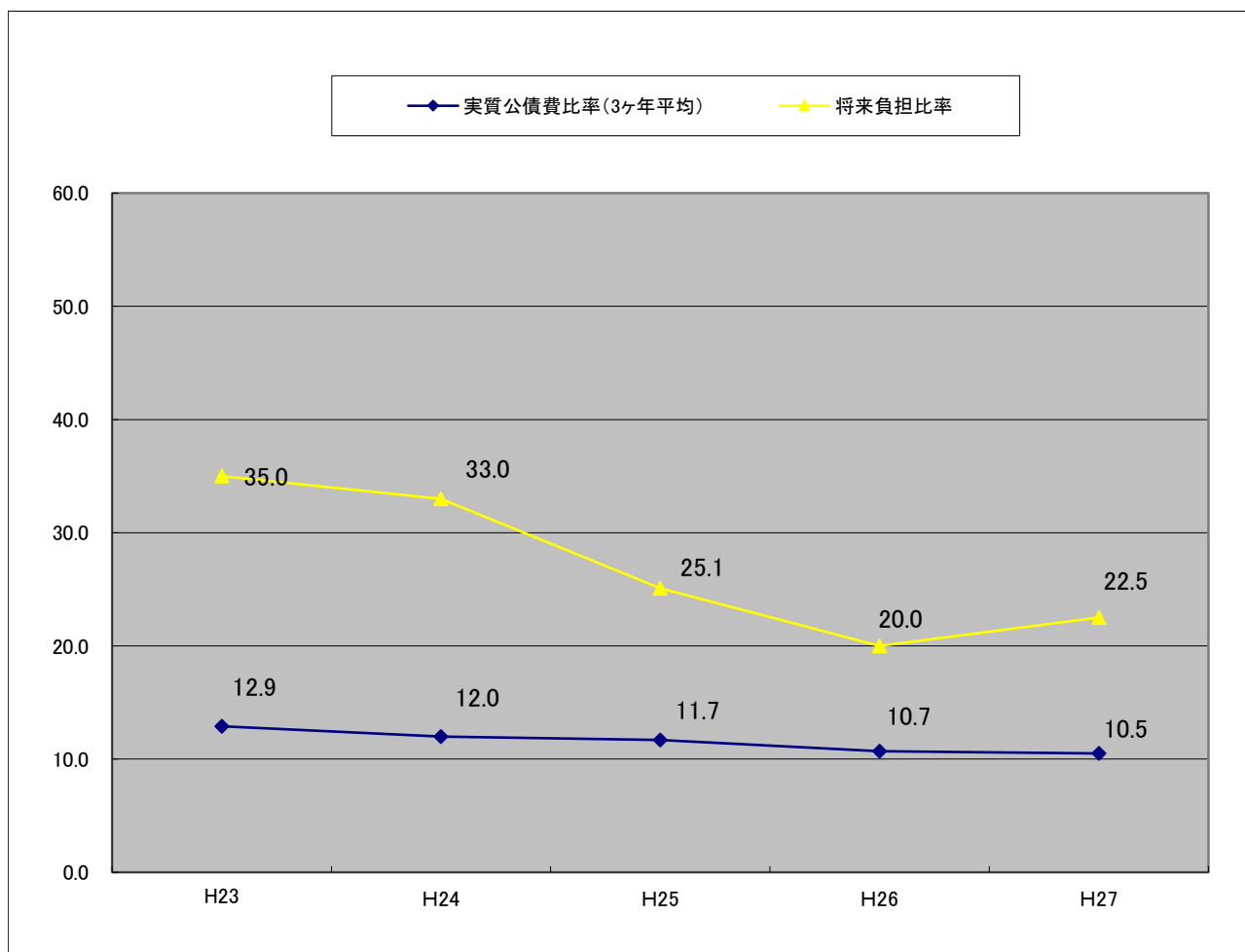
(2) 健全化判断比率の推移

健全化判断比率とは、平成19年度に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全性を示すものとして定められた指標です。

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
23年度	-	-	12.9	35.0
	(12.09)	(17.09)	(25.0)	(350.0)
24年度	-	-	12.0	33.0
	(12.07)	(17.07)	(25.0)	(350.0)
25年度	-	-	11.7	25.1
	(12.04)	(17.04)	(25.0)	(350.0)
26年度	-	-	10.7	20.0
	(12.05)	(17.05)	(25.0)	(350.0)
27年度	-	-	10.5	22.5
	(12.00)	(17.00)	(25.0)	(350.0)

備考

- 1 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「-」を記載
- 2 早期健全化基準は括弧内に記載



(3) 平成27年度安曇野市水道事業会計 決算の概要

平成27年度は、給水戸数が前年度に比べて微増したものの、給水量は約1%程度前年度を下回ったことから、給水収益は約15,000千円の減収となりました。また、減価償却費の増加などから純損益は約53,000千円減少し、257,719千円を計上しました。

1 業務量

	平成27年度(A)	平成26年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
給水戸数(戸)	38,228	37,896	332	100.9%
年間給水量(千m ³)	9,818	9,887	△69	99.3%

2 損益計算書

	平成27年度(A)	平成26年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
営業収益	1,900,899	1,914,031	△13,132	99.3%
うち給水収益	1,752,329	1,767,710	△15,381	99.1%
営業外収益	327,178	306,267	20,911	106.8%
うち長期前受金戻入	313,381	294,293	19,088	106.5%
収益計①	2,228,077	2,220,298	7,779	100.4%
営業費用	1,779,799	1,690,606	89,193	105.3%
うち減価償却費	1,124,177	1,054,756	69,421	106.6%
営業外費用	188,329	205,579	△17,250	91.6%
費用計②	1,968,128	1,896,185	71,943	103.8%
経常損益①-②	259,949	324,113	△64,164	80.2%
特別損益	△2,230	△13,190	10,960	16.9%
純損益	257,719	310,923	△53,204	82.9%

[増減の主なもの]

収益	・長期前受金戻入	+ 19,088千円	黒沢浄水場撤去による増(15,298千円)
費用	・減価償却費	+ 69,421千円	H26年度取得資産の償却開始による増
	・資産減耗費(固定資産除却)	+ 44,786千円	黒沢浄水場撤去による増(62,674千円)
	・委託料	+ 25,101千円	認可変更及び水道ビジョン策定業務委託等による増

3 貸借対照表

	平成27年度(A)	平成26年度(B)	(A)-(B)	備考
資産	27,389,087	28,093,358	△704,271	
固定資産	23,715,739	24,375,113	△659,374	
流動資産	3,673,348	3,718,245	△44,897	
うち貸倒引当金	△1,692	△1,363	△329	
負債	15,377,166	16,430,320	△1,053,154	
固定負債	7,754,862	8,396,461	△641,599	
企業債	7,754,862	8,396,461	△641,599	
流動負債	1,067,306	1,275,356	△208,050	
企業債	641,599	635,073	6,526	
引当金(賞与、法定福利費など)	81,156	126,929	△45,773	
その他	344,551	513,354	△168,803	
繰延収益	6,554,998	6,758,503	△203,505	
資本	12,011,921	11,663,038	348,883	
資本金	10,279,896	6,463,905	3,815,991	
剰余金	1,732,025	5,199,133	△3,467,108	
資本剰余金	194,019	193,554	465	
利益剰余金	1,538,006	5,005,579	△3,467,573	※1
負債+資本計	27,389,087	28,093,358	△704,271	

※1 H26年度から地方公営企業会計制度の新基準が適用になったことにより、改正年度のみ利益剰余金が増加となりました。

4 キャッシュフロー計算書

	平成27年度	備考
業務活動によるキャッシュフロー	1,220,712	業務活動によるCFがプラスで順調な経営であり、ろ過装置の設置、老朽管の布設替等の投資活動を行いました。企業債の償還により、負債の減少に努めており、財務活動によるCFはマイナスとなっています。
投資活動によるキャッシュフロー	△687,700	
財務活動によるキャッシュフロー	△247,573	
資金増減額	285,439	
資金期首残高	3,157,374	
資金期末残高	3,442,813	

5 平成27年度に実施した主な建設改良事業

① 第一次拡張事業(三郷地域) 204,380千円

三郷地域に送水をおこなう豊科真々部配水場の井戸水が、近年に発生した地震の際、濁りが生じ、濁水が配水池に流入したため、水質を維持することが困難となったことから、濁りを除去するためのろ過装置2基を設置しました。

② 岩原配水池耐震補強整備事業 39,960千円

市内8箇所の拠点配水池について耐震診断を行い、この結果に基づき配水池の耐震化工事を進めています。既に豊科、穂高、明科地域の耐震化工事が完了し、当年度、堀金地域岩原低区配水池の耐震補強工事を実施しました。

③ 市道穂高0730号線配水管布設替工事 26,817千円

既設配水管が昭和50年代に布設されたビニールで、老朽化により漏水が発生しているため、この対策として耐震型の水道管による布設替工事を実施しました。

④ 県道小倉梓橋(停)線配水管布設替工事 58,126千円

真々部配水池から口径500mmの大口径配水管が一部民地へ布設されており、また耐震化もされていないことから県道への布設替と伴に、拠点配水池からの基幹管路について耐震管路への更新整備を実施しました。

6 建設改良事業以外のおもな取組み

⑤ 漏水調査業務委託(穂高地域・明科地域) 6,048千円

有収率の向上対策として穂高地域で44km、明科地域では33km区間の配水管について漏水調査をおこない、穂高地域12箇所、明科地域5箇所で漏水を発見し修繕を実施しました。

⑥ 黒沢浄水場撤去 42,120千円(うち修繕引当金39,000千円)

三郷地域の水道水源の黒沢川表流水を地下水へと水源転換を行う工事が完了したため、不要となった黒沢浄水場の撤去工事を実施しました。

7 企業債

平成27年度においても、建設改良事業等に係る新たな借入れは行っておらず、当年度は企業債償還金635,073千円、企業債利息187,583千円の償還を行いました。これにより年度末の企業債未償還金残高は8,396,461千円となりました。

	H17	H19	H21	H23	H25	H27
企業債残高	15,033,274	13,546,981	12,133,650	10,879,926	9,660,321	8,396,461

8 利益剰余金

	(千円)
前年度からの繰越	A 487
当年度変動額	B 377,719
当年度純利益	257,719
積立金の取り崩し	120,000
当年度末未処分利益剰余金(C=A+B)	378,206

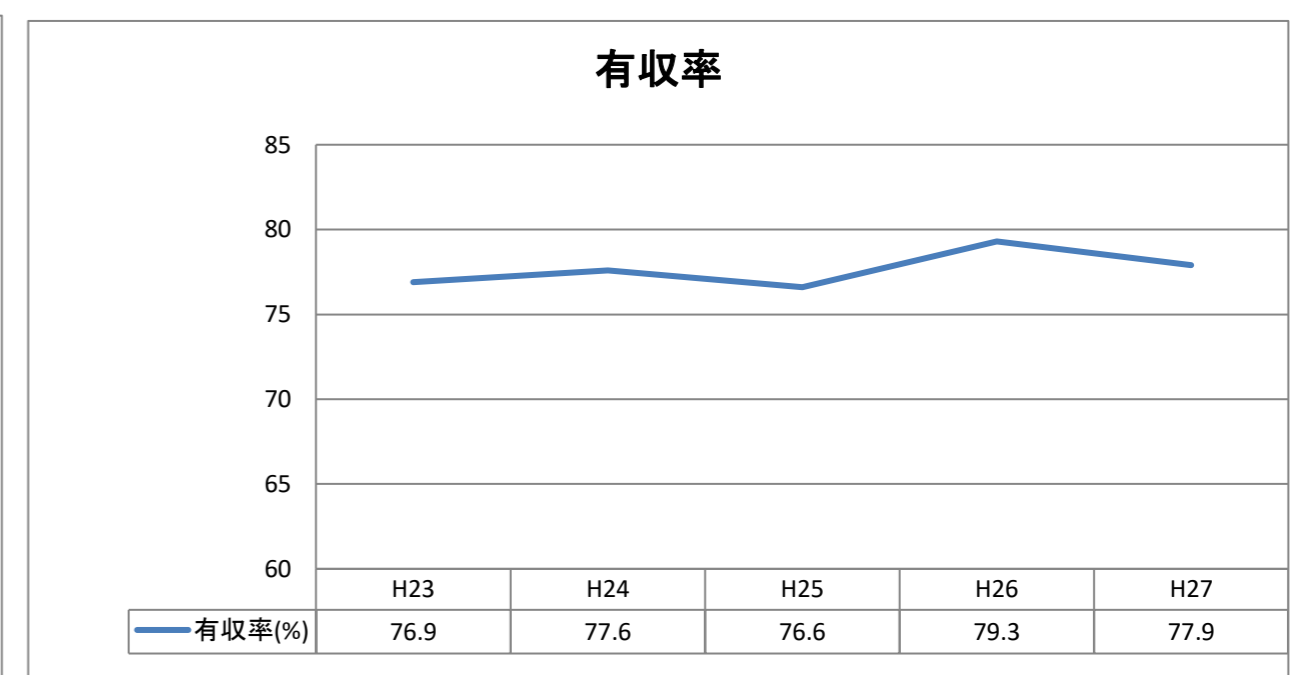
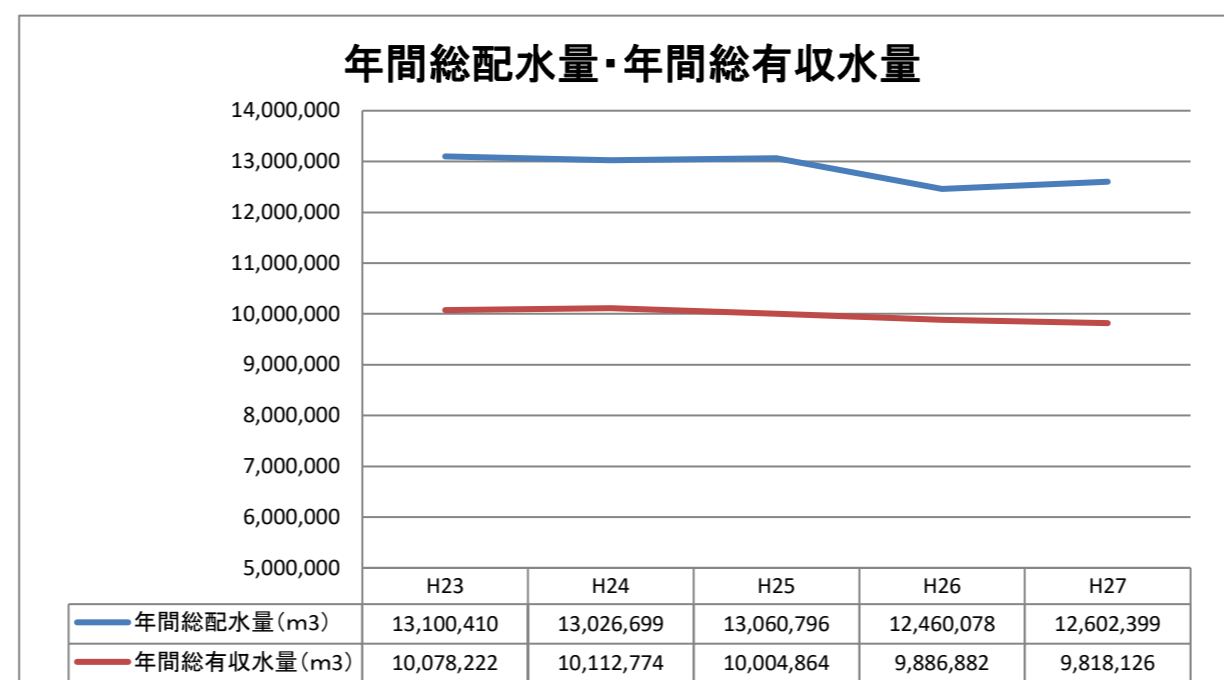
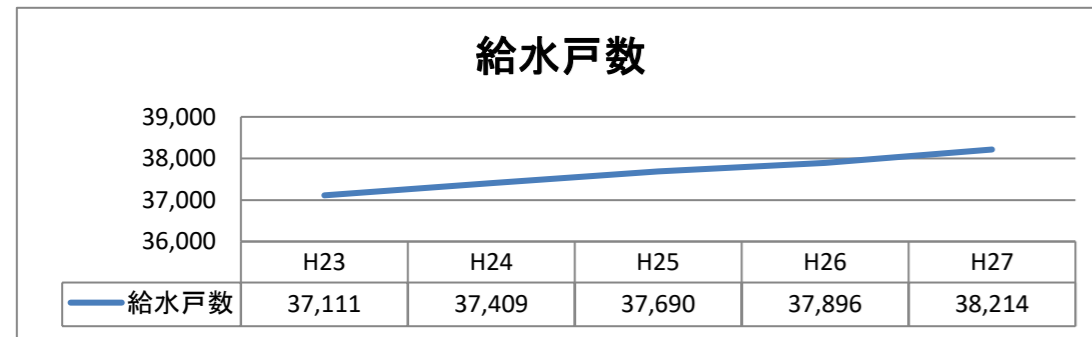
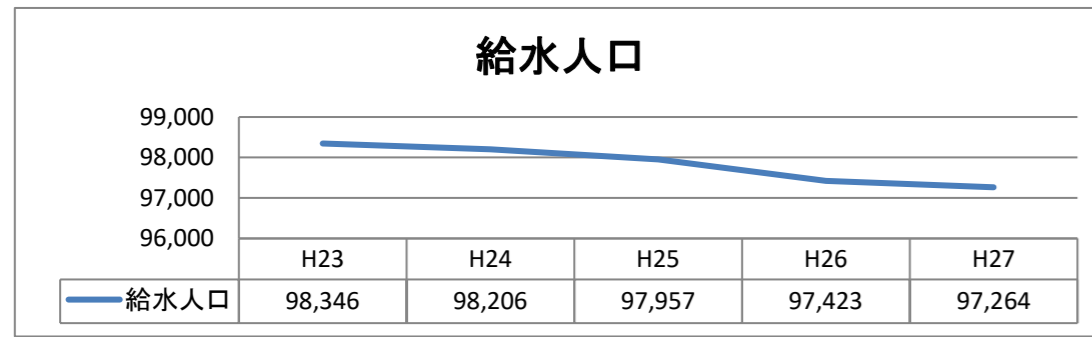
利益剰余金処分

	(千円)
建設改良積立金の積立	258,000
資本金への組入れ	120,000
処分量計D	378,000
翌年度への繰越額(E=C-D)	206

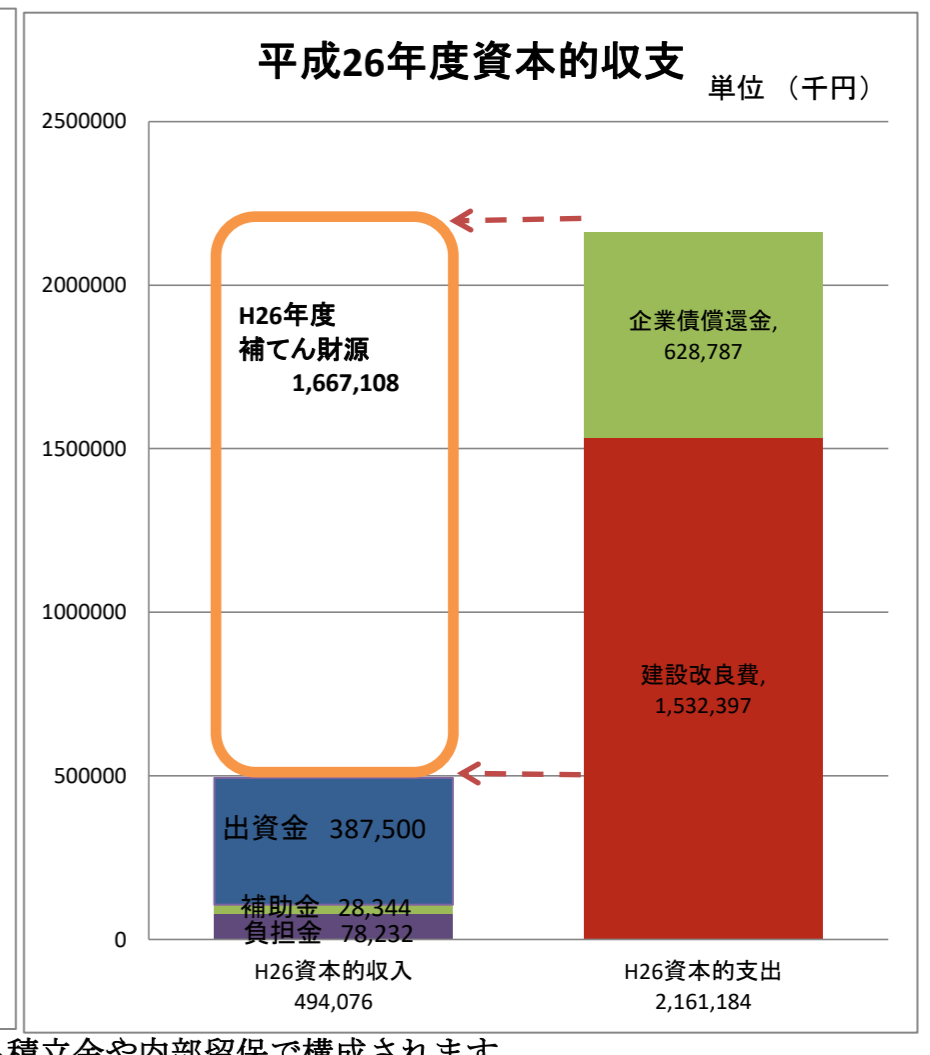
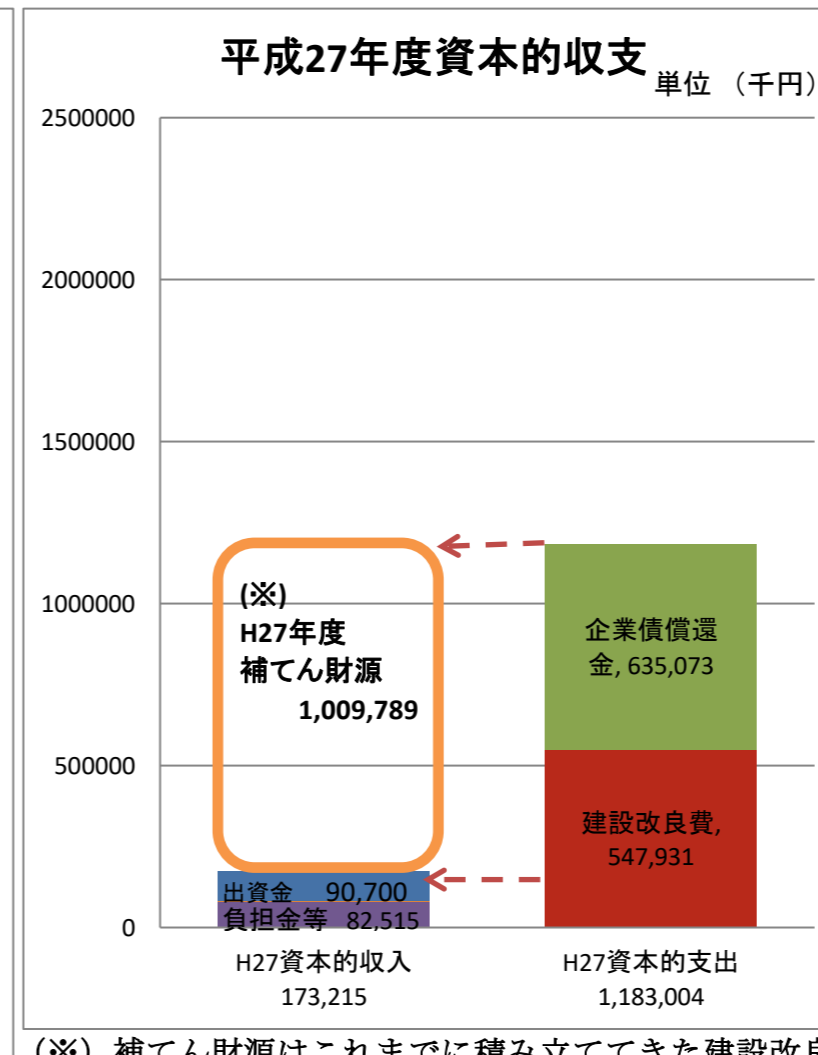
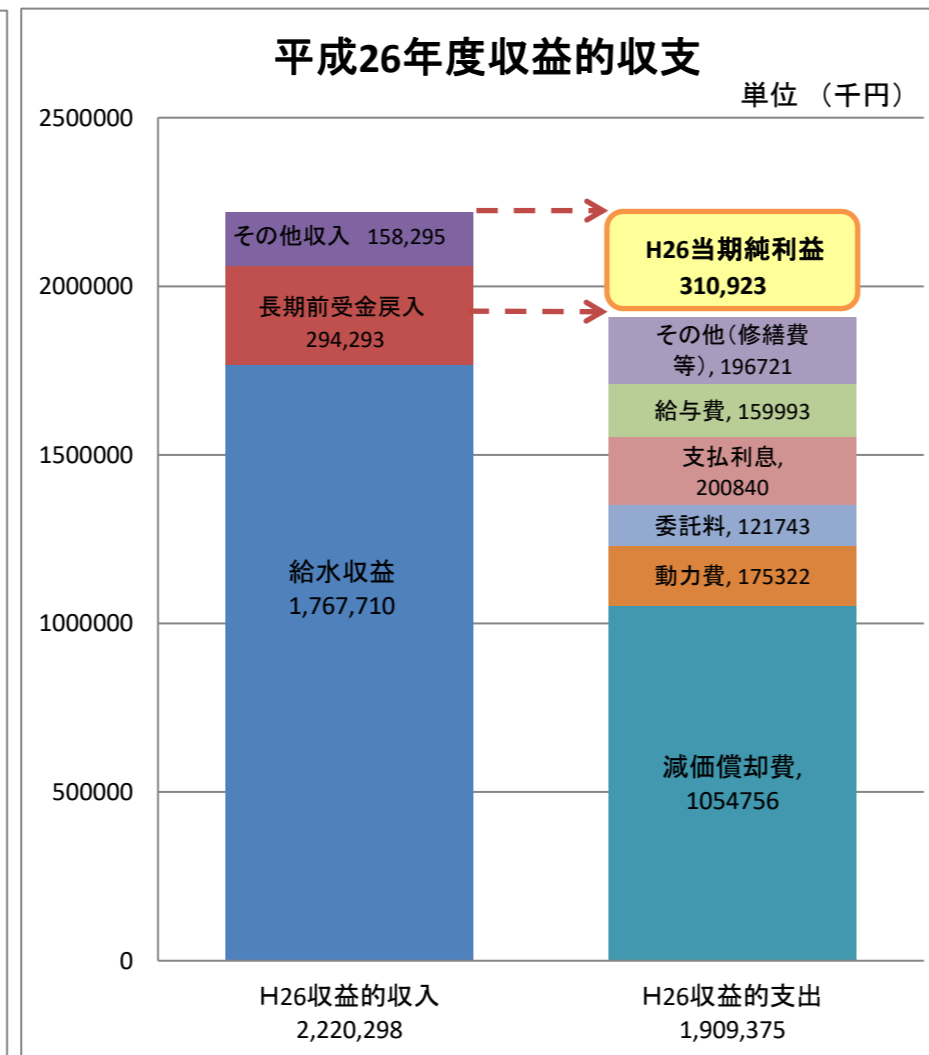
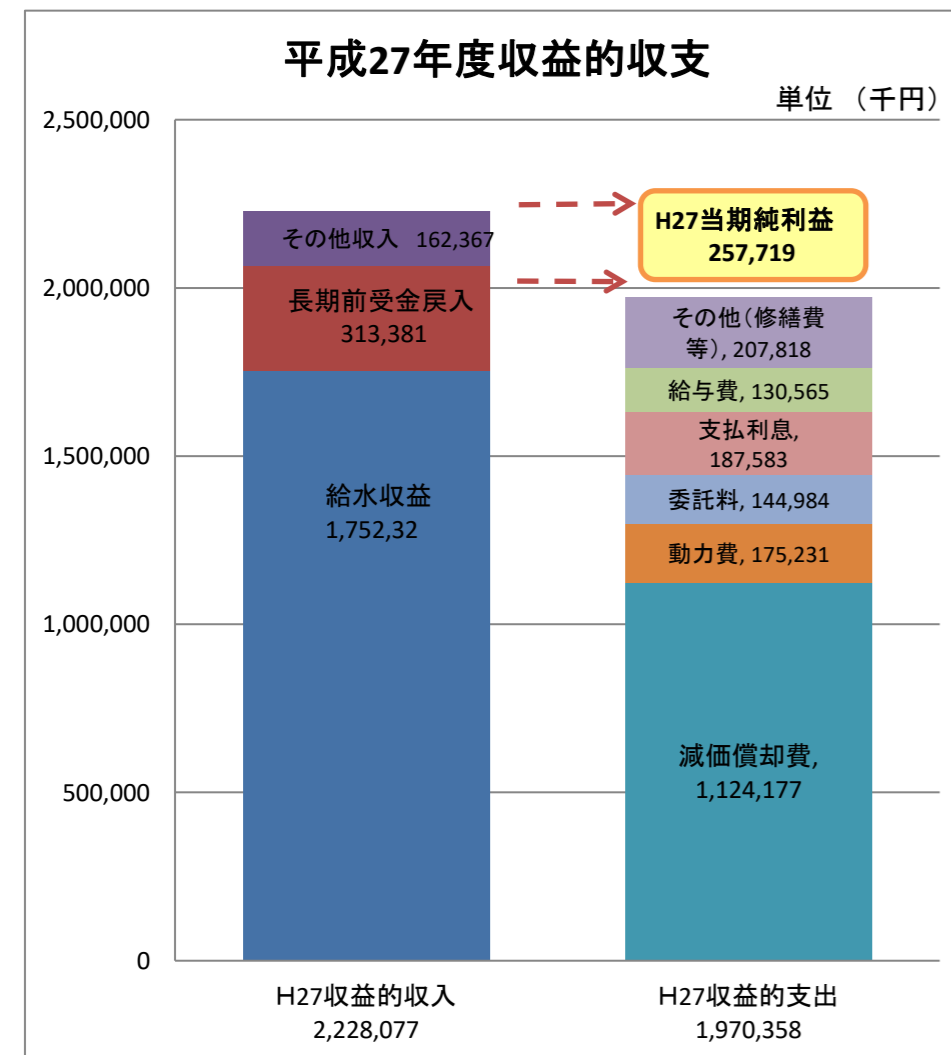


平成27年度 安曇野市水道事業決算資料

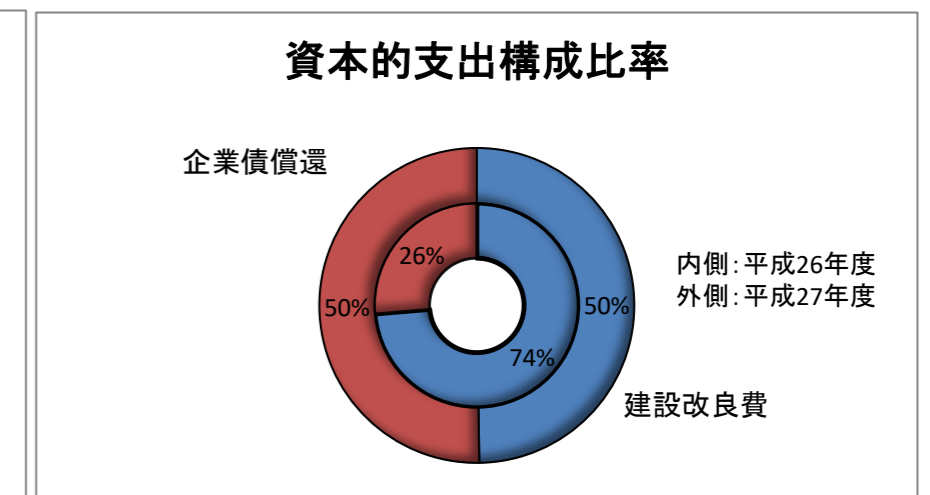
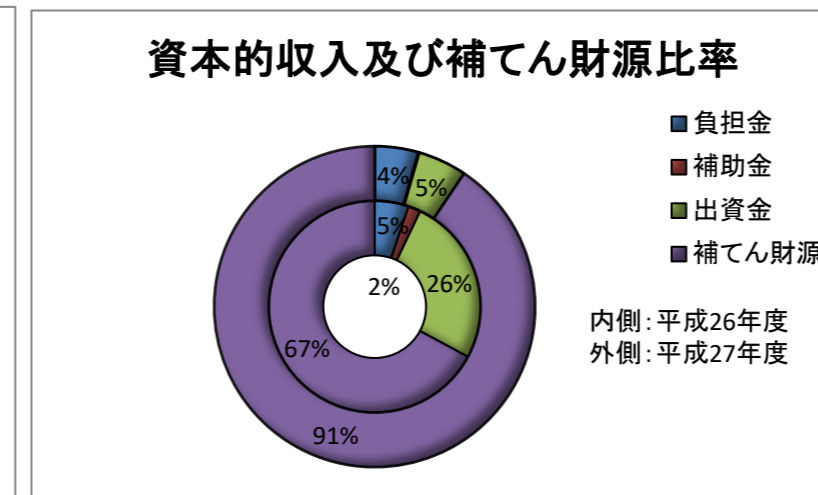
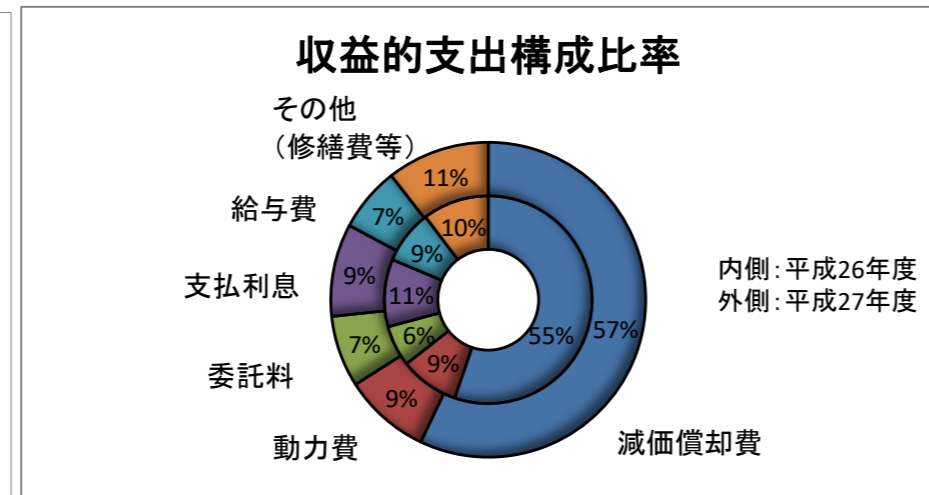
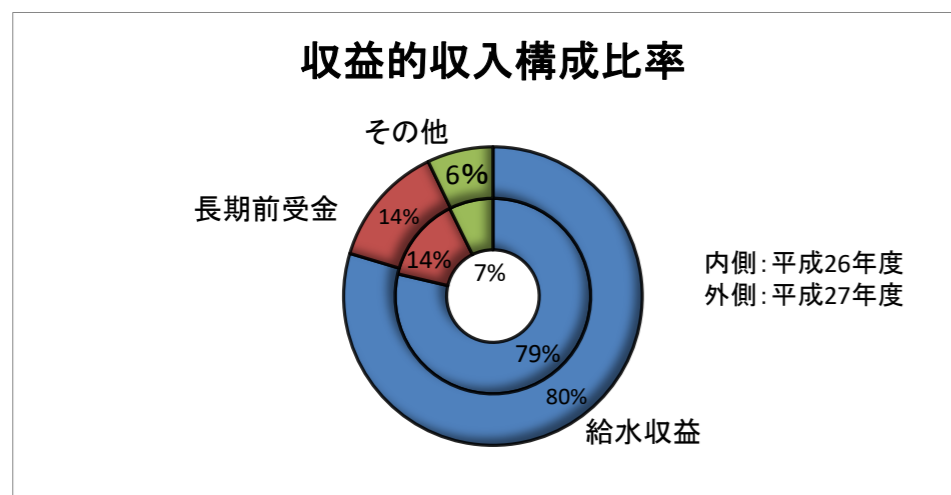
1 業務量



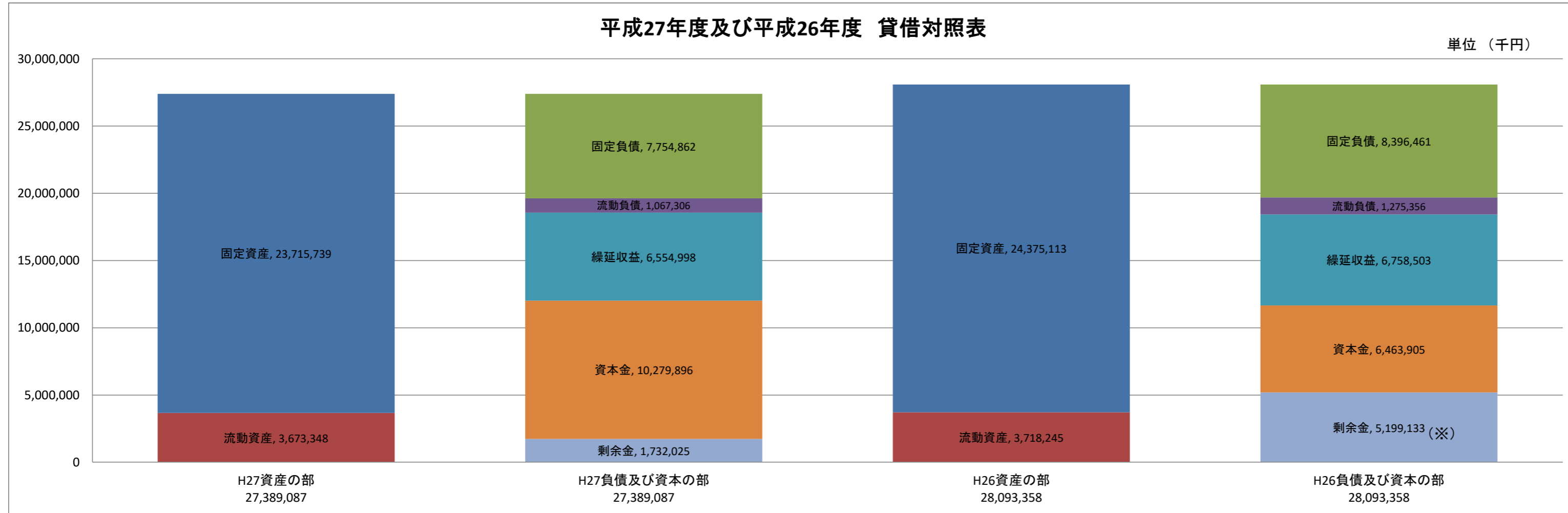
2 収益的収支及び資本的収支



(※) 補てん財源はこれまでに積み立ててきた建設改良積立金や内部留保で構成されます。

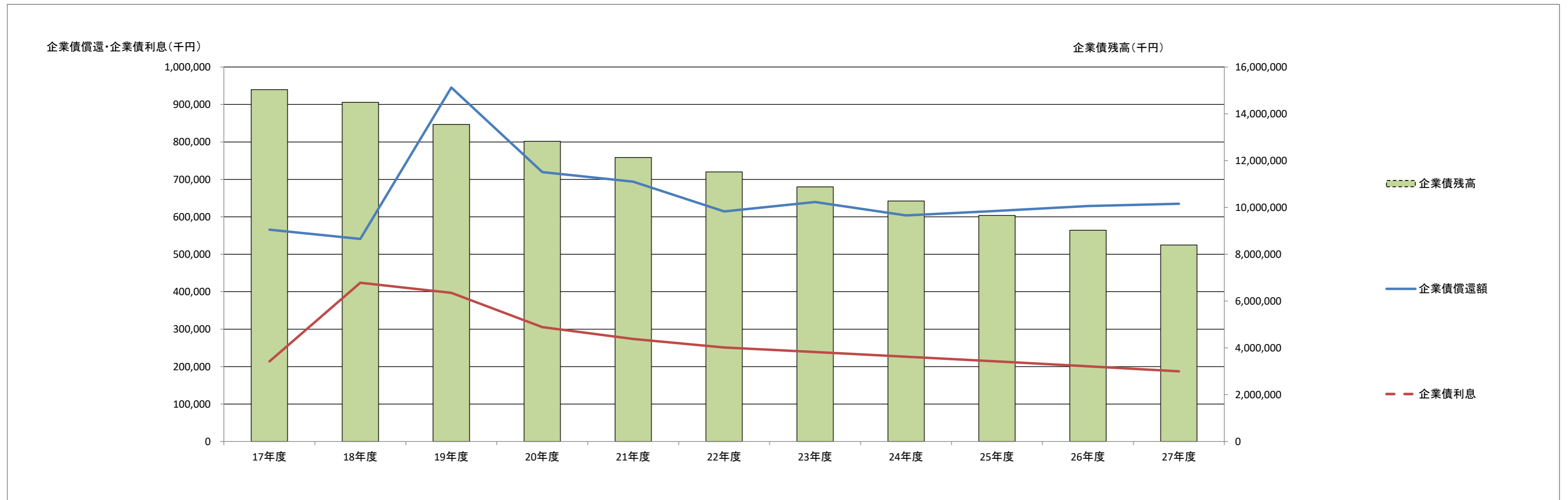


3 貸借対照表



(※) H26年度から地方公営企業会計制度の新基準が適用になったことにより、改正年度のみ利益剰余金が増加となりました。

4 企業債



平成27年度に水道事業が実施した主な取組みについて

①第一次拡張事業	②岩原配水池耐震補強整備事業	③市道穂高0730号線配水管布設替工事(穂高有明別荘B1地区)
<p>《ろ過装置設備工事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼板製圧力ろ過装置 2基 ・ろ過機制御盤ほか 1式 <p>豊科真々部配水場の井戸に地震の際、濁りが発生するためろ過装置を設置した。</p>  <p>《効果》</p> <p>従来は、濁度計が濁水を検知し自動で取水が停止した。ろ過装置の設置により、継続的に安定した送水量が確保できる。</p> 	<p>《配水池耐震補強工事》</p> <p>水道施設の耐震診断において、耐震補強が必要とされた岩原低区配水池(鉄筋コンクリート造り)の耐震補強工事を行った。</p> <p>着工前</p>  <p>《効果》</p> <p>耐震補強により、災害時における飲料水の貯留が確保できる。</p> <p>竣工</p> 	<p>《配水管布設替工事》</p> <p>昭和50年代の別荘開発で布設され、40年程経過した水道用塩化ビニール管において、漏水や破管が多発したことから、平成24年度より配水管の布設替をおこない平成27年度完了した。</p>  <p>《効果》</p> <p>平成24年7月と平成28年7月の配水水量を比較した結果、約160m³/日の漏水が解消したと考えられる。</p> 
<p>● 一次拡張事業費 C=204,380千円 内ろ過装置設備工事費 C=126,900千円</p>	<p>● 工事費 C=39,960千円 耐震補強工 一式 RC造タンクV=691m³(S49建築)</p>	<p>● 工事費 C=26,817千円 延長 L=557.9m 【H24~27年度 総工事費 C=173,879千円 総延長 L=4857.6m】</p>
④県道小倉梓橋(停)線配水管布設替工事	⑤漏水調査業務委託(穂高地域・明科地域)	⑥黒沢浄水場撤去
<p>《配水管布設替工事》</p> <p>真々部配水池からの大口径配水管が一部民地に布設されているため、基幹管路の耐震化を兼ねて、県道への布設替を行った。</p>  <p>《効果》</p> <p>公有地内での迅速的な修繕対応が可能になった。また、拠点配水池からの基幹管路の耐震化が図れた。</p> 	<p>《漏水調査場所》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂高地域 44km ・明科地域 33km <p>《調査方法》</p> <p>多点相関型漏水探知機で漏水位置を測定し、デジタル探知機等で補完して漏水場所を特定した。</p>  <p>《効果》</p> <p>穂高地域12箇所、明科地域5箇所の漏水を発見し修繕を実施した。</p> 	<p>《浄水場施設解体工事》</p> <p>一次拡張事業により、黒沢川の表流水から地下水への水源転換が完了した。不要となった浄水場の施設の解体工事を行った。</p> <p>竣工</p>  <p>《効果》</p> <p>施設の解体により、維持管理費の節減が図れた。</p> 
<p>● 工事費 C=58,126千円 DIP φ500 L=55.1m DIP φ350 L=61.3m</p>	<p>● 委託料 C=6,048千円 主に水道用塩化ビニール管口径φ50mm以上調査</p>	<p>● 工事費 C=42,120千円 浄水場施設解体工 一式</p>